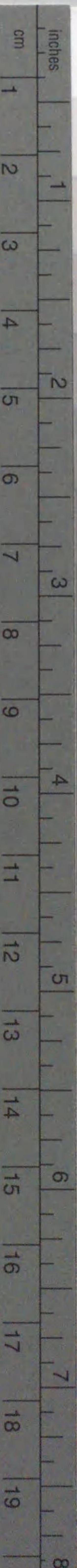


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

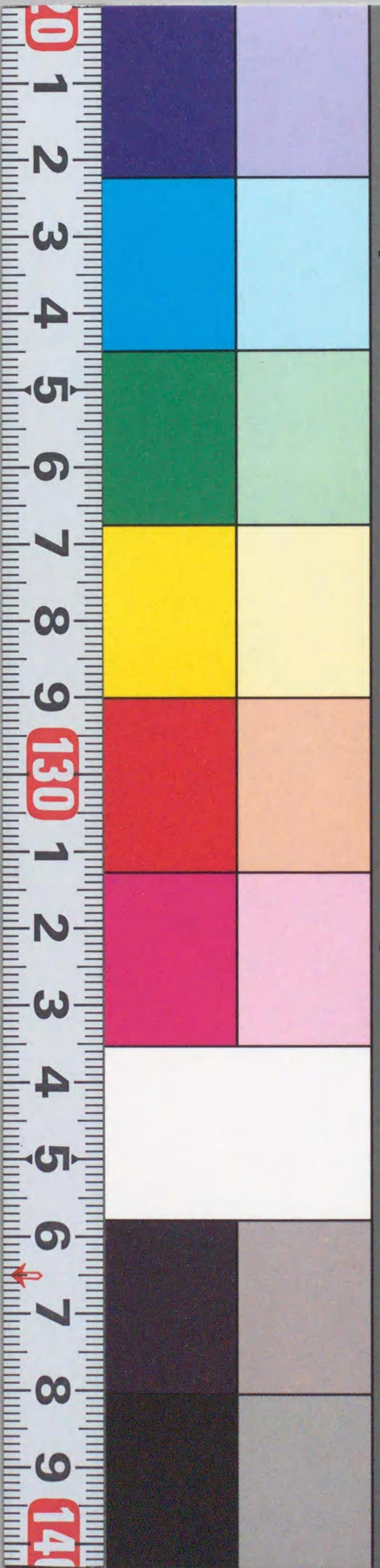
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



明治廿四年十月廿二日內務省許可

Y994

J7868

明治二十六年五月二十六日

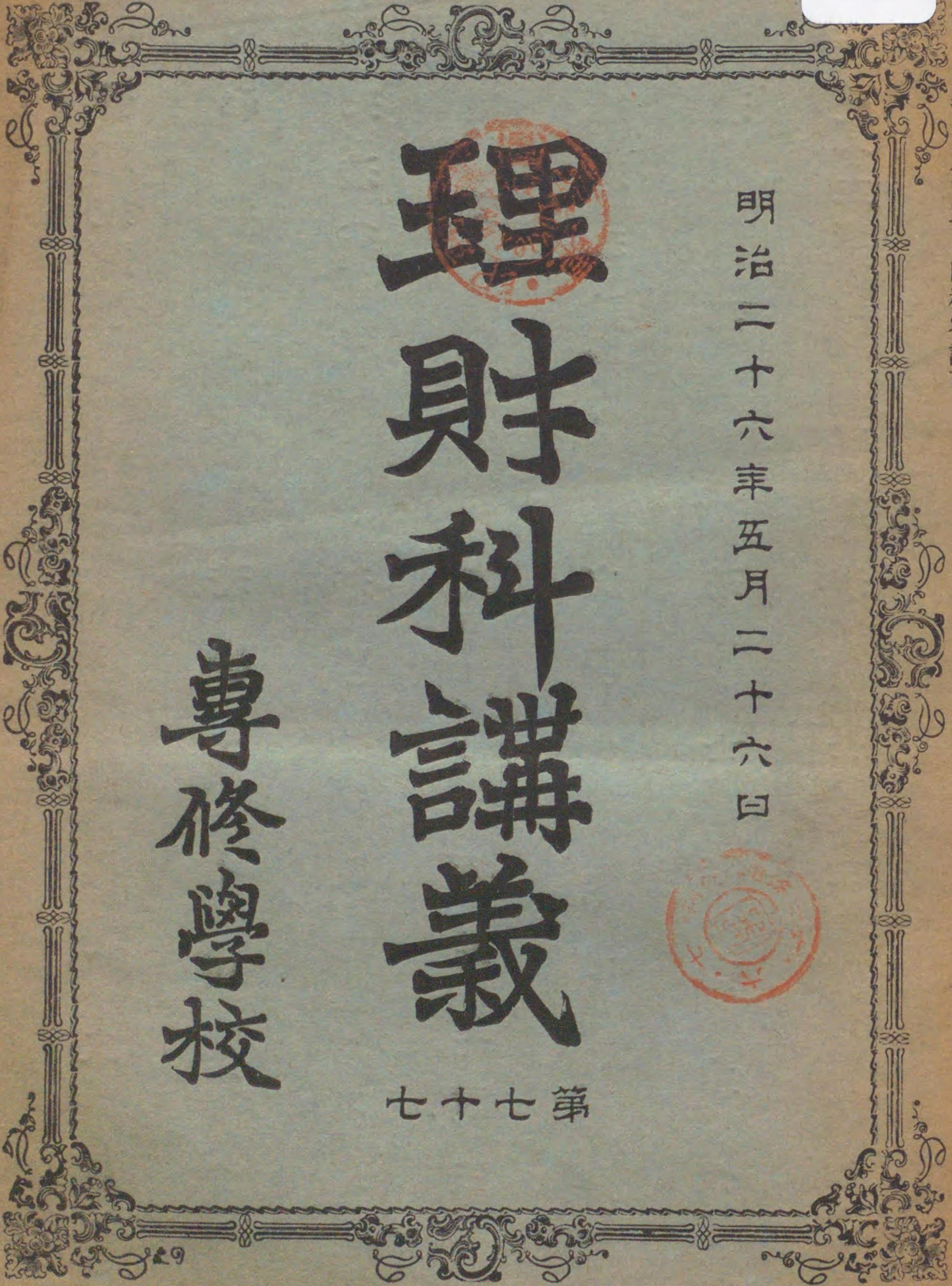


# 理財科講義

第七十七

## 專修學校

每金曜日發兌







I 種  
W



Y994  
J7868

目 録

實際統計學	吳 文 聰
私 犯 法	法 學 士 中 川 一 介
刑 法 (總 則)	法 學 士 岡 田 朝 太 郎
歷 史 學	文 學 博 士 坪 井 九 馬 三
經 濟 汎 論 (原 論 ノ 部)	文 學 士 中 隈 敬 藏
法 例	法 學 士 兩 角 彦 六
二十年来經濟世界之景況	法 學 博 士 田 尻 稻 次 郎

小兒死亡

歐洲各邦ニ於ケル小兒ノ死亡ハ極メテ甚シキモノナリ而シテ其原因ハ主トシテ左ノ各項ニ在リト云フ

- 第一 小兒ハ身體薄弱ニシテ諸種ノ病患ニ罹リ易ク加フルニ些細ナル病苦ニモ堪ヘ難キコト
- 第二 小兒ハ稍成長セシ者ノ如ク自ラ防衛自活スル能ハス萬事他人ノ世話ヲ受ク然ルニ保育上ノ取扱親切周到ナラサルコト
- 第三 嬰兒ハ生母ノ乳ニ由リテ養育セララル、コト天然自然ノコトナルニ社會ノ繁忙(開明進歩トハ云ハス)ナルト共ニ人造營養物ヲ以テ養育シ且ツ母タル者自己ノ容色ヲ愛スルカ爲メ又ハ生活ニ忙シク工場ニ出入スル爲メ生母ハ之ヲ養フ能ハス他人ヲシテ代ツテ之ヲ養育セシムルコト
- 第四 小兒ハ寒暑其他ノ天候ニ由リテ影響セララル、コト遙カニ大人ニ過ルコト



以上ノ各項ハ皆歐洲小兒ヲシテ夭死セシムルノ原因ナリ今左ニ各國小兒ノ死亡數ヲ掲ケテ之ヲ示ス

ロムバード等ノ說ニ從ヘハ各國ニ於テ死者千人中五歳以下ノ小兒ヲ含ムコトハ次ノ如シト

日本	(明治二十三年)	二九二	和蘭	四四八
佛蘭西		二九五	普魯士	四五六
瑞西		三四〇	伊太利	四七七
瑞典		三四九	奧地利	四八五
白耳義		三六九	露士亞	五五四

又次表ハ一千人ノ出生者カ其五歳ニ達スルマテニ死去スル割合ヲ示セシモノナリ

國	年紀	一歳ニテ	二歳ニテ	三歳ニテ	四歳ニテ	五歳ニテ	計	生殘者
瑞典	千八百六十六年ヨリ 同 七十五年マテ	一三七	四二	二一	一五	一二	二二七	七七三
蘇格蘭	千八百七十六年ヨリ 同 八十年マテ	一二三	五五	二八	一九	一四	二三九	七六一

瑞西	同	一九〇	三二	一四	九	七	二五二	七四八
英吉利	千八百六十六年ヨリ 同 七十五年マテ	一五四	五四	二四	一六	一一	二五九	七四一
白耳義	同	一七四	五三	二九	一七	一一	二八五	七一五
普魯士	同	二一八	五六	二九	一八	一三	三三四	六六六
奧地利本部	同	二五九	五六	三二	二一	一七	三八五	六一五
伊太利	同	二二三	九一	三八	二六	一九	三九七	六〇三
巴波利	千八百六十年ヨリ 同 六十九年マテ	三二四	四〇	一九	一三	一〇	四〇六	五九四

尤モ是等ノ數ハ皆割合ヲ示スモノナルカ故ニ年ニ由リテ不同アリ例ヘハ

同年齡生存者每千零年  
以上五年未滿ノ死亡  
人

死亡者千人中  
零年以上五年未滿ノ死亡  
人

明治十九年	四六・一	二四二
同二十年	四六・九	二八五
同二十一年	四一・二	三〇五
同二十二年	五四・三	三二〇
同二十三年	四九・〇	二九二



右ノ表上段ハ同年齡者ノ不幸ニ罹ルモノ、多少ヲ示スモノニシテ下段ハ大人ト小兒ト不幸ニ罹ルモノ、多少ヲ示セシモノナリ故ニ年ニ由リテ斯ル相違ヲ生スルモノト知ルヘシ

巴里ノ觀察ニ由レハ生母ノ乳養ニ由レハ一百人死スヘキ所乳母ノ保育ニテハ二百二十人死シ又乳房ニテ養フモノ百人死スヘキ場合ニ匙ニテ養ハル、モノハ二百三十人死スト云フ

此ニ又棄兒ノ死亡歩合ヲ聞クニ其初年ニ於ケル毎百ノ死亡ハ次ノ如シト云フ

マルセルニテハ	三八	リオンニテハ	四二
聖ペートルスブルグニテハ	四〇	巴里ニテハ	五七

職業ト死亡トノ關係

死亡ノ統計ニ由リ各職業カ其執業者ニ對シ影響スル所如何ヲ知ルハ又趣味アル問題ナリ然レトモ本邦未タ斯ル調査ナキヲ以テ今一ニ英國ノ調査ニ依リ之カ一例ヲ示サン而シテ各職業カ執業者ニ對シ其健康ニ影響スルコト如何ヲ知ルニ最モ困難ナルハ左ノ二點ニ在リ

一一定ノ職業ハ職業其モノ、不健康ナルニハアラサレト業務ノ普通平易ナルカ爲メ衆人爭フテ此業ニ從事シ爲メニ賃金低落シ從テ生活ノ程度陋劣トナリ終ニ不健康ノ職業トナルコト

一一定ノ職業ハ元來身體屈強ナラサレハ執リ難キモノアリ之ニ反シテ他ノ一定ノ職業ハ薄弱病身ノ者ニテモ習熟シ得ルモノアリ是ヲ以テ甲種ノ職業ハ頗フル健康ナルカ如ク乙種ノ職業ハ極メテ不健康ナルカ如ク見ユ

以上二項ハ職業其モノ、性質ヨリハ週邊ノ他ノ事情其執業者ニ影響スル所多シ是職業ノ健否ヲ考究スルコトノ困難ナル所以ナリ

此事ニ關スル英國ノ方法ハ千八百七十五年ノ登簿總官報告ヲ基トシ「ドクトル」フアーノ作爲セシ所ニシテ先ツ六十二種ノ執業者ヲ取り其年齡ヲ別テ其死者モ亦斯ノ如ク年齡別ト爲シ全國一般ノ死亡歩合ト六十二種執業者ノ死亡歩合ト何レカ多キヤヲ見シモノナリ其割合次ノ如シ

十五年  
二十年

二十年  
廿五年

廿五年  
卅五年

英國一般

六・三

八・六

九・八



六十二種職業 四・二

八・三

九・七

一一三

三十五年  
四十五年

四十五年  
五十五年

五十五年  
六十五年

六十五年  
七十五年

七十五年以上

英國一般

一三〇

一八五

三三二

六六八

一六五・八

六十二種職業 一三・三

一九六

三五〇

七五・六

一九二・二

其説明ニ曰ク最初ノ三年齡級ニ於テハ六十二種職業者ノ方却テ一般ノ死亡ヨリ少シ是元ヨリ當然ナリ何トナレハ若年ノ間ハ未タ職業ナルモノ、影響アラサレハナリ而シテ其三十五年以上ニ至リテハ六十二種職業ノ方全國一般ノモノヨリ多シト

右ノ表ニ據リテ之ヲ視レハ兎ニ角六十二ノ職業者ハ全國一般ノモノニ比シテ死亡ノ割合多キハ事實ナリ尙ホ説ヲ爲シテ曰ク一定ノ職業者ノ死亡カ英國一般ノ死亡ヨリ其割合多ケレハ其職業ハ不幸ナリ殊ニ三十五年以上ノ年齡級ニテ其死亡ノ割合六十二種職業ヨリ多キモノ、如キハ愈不幸ナルモノナリ之ニ反シテ一定ノ職業ニシテ其死亡英國一般ノ死亡ヨリ少キモノアラハ是幸ナル職業ナリト

六

左ニ數種ノ職業ヲ舉ケテ其健否ヲ示ス

商家ノ番頭手代ノ死亡ハ一般死亡ニ比シ每百十乃至十二多ク年齡ノ加ハル

ニ從ヒ益増加ス是市街ニ住シ一定ノ狹隘ナル場所ニテ仕事ヲ爲シ給料モ多

カラサルカ爲メナラン

僧侶ノ死亡一般ノ死亡ニ比シ百分ノ七十七六十二業ニ比スレハ百分ノ六十

六ナリ僧侶ノ斯克幸ナルハ其田舎ニ平和ニ住居スルコト、小額ナカラモ一

定ノ確實ナル收入アリテ苦慮スルコト少キカ爲メナラン

醫師ノ死亡ハ一般死亡ニ比シ百毎ニ六個多ク六十二業ノ平均ニ同シ醫師ハ

六十二業中ニ在リテ社會上、經濟上他ノ業務ニ優ルニ拘ハラス斯克不幸ナル

ハ種々ノ世事ニ暴露接著スルコト多ク其生活法不規則ナルカ爲メナラン

「パリストル」ノ死亡甚タ幸ニシテ一般ノ死亡ニ比シ百毎ニ六十二ニ過キス

「アトルニー」ノ死亡ハ相似タル業ナレトモ稍不幸ニシテ一般死亡歩合ニ略同

一ナリ

學校教師ノ死亡ハ一般ノ死亡ト略同一ナリ併シ其業務格別健康ナラスト見

實際統計學

一一三

七



へ年齢ノ加ハルニ隨ヒ其割合益々増加ス

農作、牧畜、鐵道人夫、掘割人足、石研リ、煉瓦石製造業者等ノ如キハ一般死亡ニ比

スレハ百分ノ六十ニヨリ八十九ニ過キス

鐵道員、水夫、礦夫、硝子吹き、陶器師、鉛管製造人、ペンキ塗師、硝子磨キノ如キハ職

業ノ危険ナルト中毒等ノコトアルヲ以テ其死亡皆割合ニ多シ

裁縫師ノ死亡數ハ甚タ大ナリ一室内ニ閉居スルト幼年ヨリ年期ニ住ミ込

ムカ爲メナラン

紡績場ノ職工ハ六十二業ニ比スレハ稍大ナル死亡數ヲ有ス

指物師及鍛冶ノ如キ手工ハ一般ニ幸ノ方ナリ

兵士ハ平時ニ於テハ一般死亡ヨリ稍少ク戰時ニ在リテハ素ヨリ之ヨリ多數

ナリ

酒食店ノ主人ハ一般死亡ニ比シテ其割合甚タ多シ是少許ナリト雖モ朝夕飲

酒スルカ爲メニシテ他ノ業務ニ從事スルモノト雖モ其職業危険ナルモノ從

テ益々食酒ニ耽リ終ニ命ヲ致スモノ少ナカラス哀シムヘキニアラスヤ

要ナシ

### 第二款 各種ノ誹毀ニ通スル法則

本款ニ於テハ口頭タルト書面タルトヲ問ハス總テ誹毀犯ニ適用スヘキ法則ヲ  
説明セントス

#### 第一 誹毀ニハ惡意ヲ要セス

往古ヨリ誹毀ニハ必ス惡意ヲ要シ惡意ナクンハ責任ヲ發生セスト云ヘリ然レ  
トモ今日ニ於テハ一般ニ云フ時ハ誹毀ニハ惡意ヲ必要トセサルヲ以テ前ノ說  
ハ最早陳腐ノ議論トナレリ苟モ相當ノ原因ナクシテ換言セハ法律ニ於テ特ニ  
適法ノモノトシ或ハ不問ニ附スル場合ニアラスシテナシタル誹毀ハ惡意ナキ  
場合ニ於テモ亦責任ヲ發生セサルヘカラス強テ今日ニ於テ惡意ヲ要スル原則  
ヲ存セントセハ惡意タル文字ニ特別ノ意味ヲ附シ正當ノ理由ナキコト、解ス  
ルヲ以テ至當トス

#### 第二 誹毀ハ必ス公布セラレタルコトヲ要ス

私犯法



公布トハ必スシモ其間一般ニ知ラシムルノ意ニアラス誹毀セララル、モノ以外ノ人ニ知ラシメ若クハ聽カシムルコトナリ故ニ第三者即チ被害者以外ノモノニ知ラシメタル場合ニ於テハ唯一人ノミニテモ之ヲ知リタルトキハ法律上所謂公布アリタルモノナリ誹毀ニ公布ヲ要スル所以ハ誹毀ヲ以テ一種ノ私犯トシ其誹毀者ニ私法上ノ制裁ヲ被ラシムルハ其理由誹毀セラレタルモノ、忿怒ヲ慰スルカ爲メニアラスシテ其人ノ名譽上ニ被リタル損害ヲ救済スルヲ目的トスルカ爲メナリ然レトモ夫ノ誹毀ニ該當スル言語ヲ妻ニ聞カシメタルトキハ是一種ノ公布ニシテ假令法律上所謂夫妻ハ同一體タリト云フ原則アリテ或ル權利關係ニ於テハ同體ト認定スルコトヲ得ルモ此場合ニ於テハ同體ト看做スコトヲ得ス

公布ハ必スシモ數多ノ人ニ知ラシムルヲ必要トセサルヲ以テ他人ヲ誹毀スルニ足ルノ事項ヲ電報ニ依リテ通知センカ電信局ノ技手ノ知ル所トナルヲ以テ夫ノミニテモ亦公布トナルコトヲ得ヘシ或ハ又或ル印刷物ヲ印刷シテ未タ搬布スルニ至ラサルモ既ニ之ヲ印刷スルノ際植字人ノ讀ム所トナリシヲ以テ即

チ公布アリシモノトナサ、ルヘカラス又或ル文書中如何ナル事項ノ掲載セラ、ル、ヤチ知ルノ義務ナクシテ唯機械的ニ運送搬布スルモノハ假令實際ニ於テハ誹毀ニ該當スルノ事項アルモ之カ不知ナルコトヲ證明スルトキハ決シテ之カ責任ヲ負フコトナシ例ヘハ新聞紙ノ場合ヲ採リテ説明センカ之カ編輯人印刷人若クハ持主タルモノハ新聞紙上ニ於テ如何ナル事項ノ掲載シアルヤチ知ラサルヘカラサルノ義務アルモノナリ故ニ豫メ知ルト知ラサルトナ間ハス總テ紙上ニ掲載シタル事項ニ關シテハ責任ヲ負ハサルヘカラサルナリト雖モ此等編輯人印刷人若クハ持主ニアラスシテ只單ニ之カ賣捌キナスニ過キサルモノハ其誹毀アルコトヲ知ラスシテ賣捌キタルトキハ其責任ヲ生セサルモノトス

誹毀ハ公布ニ依リテ初メテ責任ヲ發生スルモノニシテ公布シタルモノハ其責任ヲ負擔スルヲ以テ再度誹毀ニ當ル同一ノ言語ヲ談シ又ハ同一ノ文章ヲ示シタルトキハ即チ新ナル公布アリタルモノナリ從テ又新ナル訴權ノ生スルモノナルコトヲ記臆セサルヘカラス例ヘハ數年前ニ於テ印刷發賣シタル新聞紙ヲ



新ニ發賣シタルトキハ即チ新ニ公布ナシタルモノニシテ從テ亦新ナル訴權ヲ發生スルモノトス  
 猶ホ公布ニ關シテ記憶セサルヘカラスアルコトアリ即チ第三者カ誹毀ニ相當スヘキ言語又ハ文章ヲ見聞シ得ル地位ニアルトキハ之カ反證ナナスマテ假令實際ニ於テ見聞セサリシト雖モ既ニ見聞シタルモノト見做ス是必竟公布アリシコトハ提訴者ヨリ舉證セサルヘカラスアルモ言語文章ヲ見聞シ得ヘキ地位ニアリシモノアル時ハ其反證アルマテ公布アルモノト推定ストノ謂ナリ  
 公布ハ又他人ニ命令若クハ委任シテナスモ可ナリ然レトモ其委任若クハ命令ヲ受ケタルモノハ必スシモ命令者若クハ委任者ノ言語文章ヲ其儘ニ使用スルヲ要セス苟モ其主旨ニ適合セハ足レリトス

第三 誹毀ハ其性質上他人ノ名譽ヲ毀損スルニ足ルモノナラサルヘカラス言語若クハ文章カ果シテ他人ノ名譽ヲ毀損スルニ足ルヤ否ヤハ單ニ字義ニノミ拘泥スヘカラス各場合ノ事情ヲ斟酌シテ定メサルヘカラス字義ハ毫モ他人ノ不名譽ヲ來スヘキ事柄ニアラサルモ俗ニ所謂「ヒヤカ」ニ當ル場合ニ於テハ

誹毀トナルコトアリ又字義ハ如何ニ他人ノ名譽ヲ毀損スルニ足ルモノナリト雖モ當時ノ事情ヲ斟酌スレハ不名譽ヲ來サ、ルモノアリ又同一ノ文字ニテモ國語トシテ解スルトキハ誹毀トナラサルモ一地方ノ慣習上不名譽ノ事ヲ意味スルトキハ誹毀ノ構成ヲ妨ケス

第四 誹毀ハ必スシモ故意ヲ要セス  
 他人ノ名譽ヲ稱揚スル積ニテモ實際反テ讒謗ニ當ルトキハ誹毀トナリ誹毀スルノ意思ヲ以テナシタル言語文章ニシテ反テ誹毀ニ該當セサルトキハ誹毀犯ヲ構成セス又誹毀ニ當ル書面ヲ認テ甲某ニ送ラントシ誤ツテ乙某ニ送リタリト假定センカ若シ甲某ニ送ラハ或ル法律上ノ理由ニ依リテ別ニ誹毀トナラサル場合ニ於テモ之カ爲メニ責任ヲ免ル、コト能ハス

第五 誹毀ヲ復發シタル者モ亦自ラ責任ヲ負フ  
 誹毀ノ復發トハ他人ヨリ見聞シタル事項ヲ更ニ口頭又ハ文章ヲ以テ第三者ニ知ラシムルモノニシテ其復發者ハ之カ責ニ任セサルヘカラス而シテ假令誹毀創發者ハ特別ノ理由ニ依リテ其責任ヲ免ル、場合ト雖モ復發者ニシテ特別ノ



理由アルニアラサレハ概テ箇々ニ責任ヲ負擔セサルヘカラス例ヘハ子ノ親ニ通知スルハ道德上ノ義務ナルヲ以テ責任ヲ生セトス雖モ子カ更ニ第三者ニ通知スルニ當リテハ之カ責ニ任セサルヘカラサルヤ明カナリトス上來講述シタル所ハ通常誹毀ニ付キ責任ノ發生スヘキ場合換言セハ誹毀一般ノ性質ニ付説明セリ然レトモ通常誹毀ノ責任發生スヘキ場合ト雖モ或ル特別ノ事情アルカ爲メ責任ノ發生セサル場合アルヲ以テ爰ニ例ヲ擧ケテ之ヲ説明セントス

今此ノ場合ヲ區別シテ二トス即チ (一)惡意ノ有無ヲ問ハス絶體的ニ責任ノ生セサル場合 (二)惡意ノ證明アルトキ始メテ責任ヲ生スル場合

第一 惡意ノ有無ヲ問ハス責任ヲ生セサル場合

(一) 正當ノ批評

公衆ノ批評ニ供シタル事項ニ付正當ノ批評ヲ試ムルトキハ其批評ハ如何ニ過酷ナリト雖モ之カ爲メニ誹毀ノ責任ヲ生スルコトナシ而シテ其批評ヲナシタル者ノ惡意アルト否トニヨリテ差別ヲ生スルコトナシ但シ其批評タル他人ノ

心裡ニ侵入シ惡意若クハ不正實ノ考慮ヲ以テ爲シタリト批評ヲナストキハ之カ責任ヲ負ハサルヘカラス

公衆ノ批評ニ供スル場合ニ二種アリ

其一 公益ノ爲メ法律ニ於テ公衆ノ批評ヲ許ス場合例ヘハ官吏公吏ノ職務上ノ行爲其他公會事務員ノ事務上ノ行爲ノ如キモノ是ナリ

其二 批評ヲ受クル者自ラ公衆ノ批評ニ供シタル場合例ヘハ發賣シタル著書公ニナシタル樂譜又ハ發明發見若クハ公衆ノ縦覽ヲ許シタル音樂會等ノ如キ是ナリ

此等ノ場合ニ於テハ如何ニ不適當ナル批評ヲ受クルコトアルモ之ヲ忍耐セサルヘカラス而シテ其批評モ亦批評者ニ於テ自ラ公衆ノ批評ニ供シタルモノナルヲ以テ之カ駭撃モ亦忍ハサルヘカラス然ラハ如何ナルモノハ果シテ正當ト稱スルコトヲ得ヘキヤ斯ハ全ク事實問題ニ属スルモノナリ但シ正當トハ適當ノ意味ニアラス唯、批評ノ範圍ヲ超越セサルヲ云フ文藝其他技術上ノ事項ニシテ自己ニ相當ノ識見ナクシテ妄評スルカ如キハ正當ナル批評ト云フコト能ハス



(二) 事項ノ眞實ナルトキ

誹毀ニ該當スル事項ノ眞實ナルコトハ被告ニ於テ之ヲ證明スルノ責任アルモ已ニ其證明ナシタル以上ハ責任ヲ免ル、コトヲ得而シテ自己ニ惡意アルト否トニ依リテ區別アルコトナシ蓋シ法律ハ此等ノ場合ニ於テハ原告ニ救済ヲ與フルノ價值ナシトスルニアリ然レトモ事項ノ眞實トハ必スシモ一言一句悉ク眞實ナルヲ必要トセス大體ニ於テ眞實ナルトキハ緊要ナラサル部分ニ多少不實ノ點アルモ之カ爲メニ責任ノ發生ヲ妨クルコトナシ但シ實際眞實ナラサルニ自ラ眞實ナリト信シタルノミニテハ責任ヲ免ル、コト能ハス

(三) 國會議員ノ議院中ニ於テナシタル言論

議員ナシテ恐怖ノ念ヲ懷カスシテ十分其職務ヲ盡サシムル爲メニ議院内ニ發シタル言論ニ付テハ無制限ニ院外ニ於テ責任ヲ負ハサルノ規定ナリ日本ニ於テモ亦憲法第五十二條ニ於テ左ノ規定アリ

兩議院議員ハ議院ニ於テ發シタル意見及ヒ表決ニ付院外ニ於テ責ヲ負フコトナシ但シ議員自ラ其言論ヲ演說刊行筆記又ハ其他ノ方法ヲ以テ公布シタ

反クモノニシテ將來犯罪現象ノ發生不確實ナラハ之ヲ防衛スルトイフコト不當ナリ其發生確實ナラハ刑ハ無益ノ手數ヲ費スモノトイハサル可カラス  
(二)此說ノ理論ヲ貫ケハ再犯ノ恐ナキ犯罪人ヲ罰スルハ他人ノ惡念ヲ抑ヘシムル道具トナスモノニシテ若シ又他人ノ惡念ヲ抑ヘシムル道具トナスヲ不條理トスレハ犯罪人ヲ不問ニ付スルノ結果ヲ生セン佛ノ *Beccaria* 氏モ又此說ヲ難シテ曰ク刑ヲ科スルノ目的單ニ再犯ヲ豫防シ他人ノ惡念ヲ抑フルニ出ツルトセハ極メテ輕キ罪モ度々生スルモノハ重ク罰シ重キ罪ト雖モ稀ニ生スルコト殺尊族親罪ノ如キハ輕ク罰セサルヲ得サルニ至ラント(同氏著 *Cours de Code Penal* 刑法講義六八八頁)此駁論ハ一應尤ナリト雖モ到底懲戒ノ見込ナキ犯人ハ假令輕微ノ罪ヲ犯シタルモノニセヨ現今一般ノ刑法ヨリ重ク罰スルヲ要スルハ今日ノ定論ナリ

第五說 ニ曰ク國家ハ犯罪ヲ防止スルニ教育及ヒ警察ノ兩手段ヲ用ユヘキモノナリ即チ一方ニ於テハ教育ニ依リテ罪ヲ犯スヘカラサルモノタルヲ知ラシメ一方ニ於テハ警察ニ依リテ罪ヲ犯スノ途ヲカラシム而シテ此兩手段



ナ盡クスモ尙ホ罪ヲ犯シタル者アルトギハ初メテ刑罰ナル苦痛ヲ制裁トシテ國民ニ愈々犯罪ノ爲ス可カラサル所爲タルヲ知ラシム故ニ刑罰ハ制心主義ノ主張スル如ク獨リ罪ヲ犯サントスル者ヲシテ惡念ヲ黷サシムル目的ニ非ス亦脅赫主義ノ唱道スル如ク單ニ惡報ノ畏懼ス可キモノタルヲ知ラシムル目的ニ非ス全ク世人全般ヲ警戒シテ罪ノ惡事タルヲ悟ラシムルニ在リト學者之ヲ警戒主義ト名ツク

此說ヲ以テ犯罪人ノ生スルハ罪ノ犯ス可カラサルヲ知ラサルニ因ルトイフ假定ニ出ツルモノトセンカ多數ノ犯罪人ニ就キテ之ヲ實驗セヨ犯人ト雖モ狂者ニ非サルヨリハ罪ノ犯ス可カラサルモノタルコトハ明ニ熟知シ居ルナリ然ラハ此ノ如キ假定ニ出テストセンカ警戒スルノ必要ナキニ至ラン之ヲ要スルニ警戒主義ハ無形ノ脅赫主義ト有形ノ脅赫主義トヲ混合シタルモノニ外ナラサルヲ以テ此兩主義ノ缺點ハ盡ク之ヲ併有スルモノト評セサルヲ得ス

第六說 ハ社會防衛主義ト稱スルモノナリ曰ク犯罪ハ國家ノ利益ヲ侵害ス

ルモノニシテ刑罰ハ之ヲ防衛スル手段ニ外ナラス夫レ吾人カ各自ノ利益ヲ全クセント欲セハ之ヲ害スル所爲ヲ退クルニ腕力ヲ以テスルヲ得ルニ非スヤ社會モ亦各箇人ノ外ニ立チテ生存スル有機體ナリ其利益ヲ害スル所爲アラハ之ヲ防衛スルノ權利アル豈ニ吾人ト異ナル所アラシヤト

此社會防衛主義ハ當初此ノ如ク利益ヲ保全スルカ爲メニ之ニ對スル危害ヲ防衛スルヲ以テ刑罰ノ目的トスル思想ヨリ起リシモノナリト雖モ現今所謂防衛主義ノ名ヲ冠スル學說中ニハ刑ノ最終目的ヲ以テ利益ヲ保全スルニ非ス社會ノ生存其者ヲ維持スルニアリトスルモノアリ前說ノ非ナルハ第十號ノ論ヲ見テ知ルヘシ後說ニ至リテハ敢テ我輩ノ贊同スル自然主義ト異ナルナシ只舊來ノモノハ其論據ヲ百科物理學ニ採ラス爲メニ其說ク所未ダ以テ一科學ノ體裁ヲナサ、ルモノト評スヘキノミ

以上我輩ハ必要主義ノ分派ヲ略述シ併セテ得失ノ大要ヲ辯シタリ

〔十〕 必要主義ノ特色ハ社會的諸制度ノ基本ヲ吾人ノ利益ニ歸スルニ在リ此主義ノ當否ヲ辯スルニ先チ二箇ノ重要ナル先決問題アリ(一)刑罰ハ世人ヲ脅赫ス



ルヲ目的トスル説、社會ヲ防衛スルヲ目的トスル説、何故ニ我輩ハ必要主義即チ利益主義ノ中ニ列シタルカ他ナシ刑ヲ以テ世人ヲ脅赫シ社會ヲ防衛スル最終目的カ吾人ノ利益ヲ圖ルニ在リトスルヲ以テナリ(二)然ラハ必要主義カ採ツテ以テ社會的諸制度ノ基本ト看做ス利益トハ如何ナル意味ヲ有スルカ何ヲ指シテ利益ト稱シタルカ此點ハ特ニ之ヲ明瞭ニセサル可カラス然ラサレハ用語ノ曖昧ナルカ爲メニ主旨ノ在ル所ヲ悟ラス之ヲ主張スルモノト之ヲ反對スルモノト往々同一ノ論議ヲ戰セテ更ニ歸著スル所ヲ知ラサルニ至ル必要主義ノ所謂利益トハ心ノ満足ト云フ義ナリ愉快ト云フニ均シ故ニ正邪善惡乃至正不正ト云フ觀念ノ如キハ徹頭徹尾架空ノ妄想ニシテ人類ヲ主體トシ又客體トスル社會的制度ハ盡ク心ノ満足愉快即チ利益ヲ基本トス又基本トセサル可カラスト云フニ在リ

必要主義ヲ駁撃スル者ハ多ク折衷主義ノ學者ナリ即チ利益ノ外ニ正義ヲ以テ社會的制度ノ基本トナサル可カラスト主張スルモノニシテ其說數多アリト雖モ要スルニ(一)處世ノ大法カ利益ノ觀念ヲ含ムハ真理ナリ然レトモ利益主義

ノ如ク徹頭徹尾正義ノ思想ヲ排斥シ積年ノ實驗上利益ノ外ニ社會的諸現象ノ起働者ナシト云フハ全ク一箇ノ空論ノミ愈進ンテ吾人ノ本性ヲ實驗セヨ何人ト雖モ正邪善惡ヲ識別スル良心ヲ具ヘサルハ無シ故ニ專ラ利益ノ去就ノ標目トスルハ社會全體ノ制度ニ於テモ一人一己ノ品行ニ於テモ明カニ良心ノ許サ、ル所人ニ良心ナシト云フハ萬物ノ靈ヲ賤シテ禽獸社會ニ投入スルノ論ナリ(二)若シ夫レ社會制度ノ基本ヲシテ專ラ利益ノ一點ニ在ラシメハ多數ノ利益即チ満足スルヲ理由トシ社會ノ公權カ年々多少ノ無辜ヲ刑スルモ之ヲ間然スルノ途ナカラシ世間復此ノ如ク危險ナル學說アラシヤト云フニ在リ此駁論ハ未タ以テ必要主義ヲ倒スニ足ラス(一)必要主義ノ論者ハ實驗上利益ノ外ニ社會的制度ノ基本ナシト云フ之ニ反對スル論者ハ實驗上利益ノ外ニ正義ナルモノアリト云フ何レモ實驗ノ二字ヲ以テ攻撃ニ具フル金城鐵壁トナスハ可ナリ然レトモ實驗ノ結果ニ付キ所見ヲ異ニシタル時ハ己ノ所見ノ誤ナキヲ證明セサル可カラス之ヲ證明セシテ徒ニ敵ノ所見カ己ノ所見ニ均シカラサルヲ大聲疾呼スルモ惡ンシ其妄ヲ辯スルニ足ランヤ果シテ此點ノ證明ナキカ



故ニ反對論者カ容ナ正シテ専ラ利益ヲ社會制度ノ基本トナスハ良心ノ許サ、ル所正義ノ容レサル所ト主張スレハ必要主義ノ論者笑ツテ良心ト云ヒ正義ト云フ如キ空想ヲ社會制度ノ基本トスルハ利益ノ許サ、ル所ト答フルノミ哲學場裡ノ一大論戰カ其骨髓ヲ暴露スレハ此ノ如キ水掛論ナリト云ハ、諸君或ハ猜疑ノ情ニ堪エザラン然レトモ必要主義何ノ反動ニ因リテ起レルカ必要主義ノ反動トシテ佛國ニテハ何故ニ Jourdain 氏カ初メテ正義ノ折衷セサル可カラサルナ主張シタルカノ歴史的關係ヲ討スレハ自ラ釋然タルモノアラシク反對論者ハ尙ホ必要主義ヲ難シテ若シ利益ノ一點ヲ基礎トスレハ遂ニ利益ノ命スル所無辜ヲ刑スルモ敢テ不可ナシト云ハサルヲ得サルノ危險アリト此論鋒ハ益、出テ、益、鈍弱ナルモノナリ利益ノ外ニ社會制度ノ基礎ナシトスル論者ニ對シ良民ト惡徒トナ區別シ罪人ト無辜トニ付キ待遇ヲ異ニセサル可カラサルヲ説クハ同シク暗々裡ニ己ノ採ル正不正ノ觀念ヲ論據トシ反對論者カ之ヲ採ラサルヲ喋々スルモノニ非スシテ何ソヤ是ヲ以テ若シ必要主義ノ論者ニシテ勇氣ヲ落サス論理ヲ狂ケスンハ無辜ヲ刑スルモ利益ノ命スル所已ムヲ得スト答ヘ

必要主義ノ眞ノ缺點ヲ論定セシ利益ハ社會的諸現象ノ唯一ナル基本ナリト云フ然レトモ利益アルニ拘ハラス到底實際ニ行ハレサルコトアリ米國ニ於ケル奴隸制度ノ如シ利益アルニ拘ハラス之ヲ行フテ後ニ不利益ヲ醸スコトアリ貧者カ他人ノ財産ヲ竊取スルカ如シ果シテ然ラハ到底實際ニ行ハレサルモノニ對シテモ必要主義ノ論者ハ尙ホ利益ノミヲ基礎トスヘシト云フカ後ニ不利益ヲ醸スモノニ對シテモ尙ホ利益ノミヲ基礎トスヘシト云フカ論者ニシテ若シ此反問ニ答ヘテ單ニ行ハルヘキモノニハ利益ヲ基本トセヨ將來不利益ヲ招カサルモノニハ利益ヲ根據トセヨト云ハ、全ク社會制度モ處世ノ大法モ利益ノ外ニ觀察セサル可カラサル基本アルチ自白スルモノ、ミ且夫レ甲ノ利益ハ乙ノ不利益トナリ日本ノ利ハ歐羅巴ノ不利益トナル場合ニ必要主義ノ論者ハ如何ナル論鋒ヲ以テ其衝突ヲ調和スルヤ利益ノ外ニ社會制度ノ標準ナクンハ飽クマテ己ノ利益ヲ固持シテ飽クマテ衝突セサルヲ得ス既ニ論者ノ請求スル利益ヲ採リタルカ爲メニ起ル衝突ハ復利益ヲ以テ調和スルノ餘地ナシ嗚呼一私



人ノ利益モ一社會全般ノ利益モ其性質上到底生存セシム可カラサルモノアルノ理由ハ決シテ利益ニ因リテ説明スル能ハス社會制度ノ一タル刑法ニ利益主義ノ採ルニ足ラサルヤ知ル可シ

〔十二〕 折衷主義

純正主義ノ論者ハ罪惡必罰ノ正義ヲ刑法制度ノ最終目的トナシ必要主義ノ論者ハ刑罰ヲ初メ會社の諸制度ニ利益ヲ最終目的トセサルモノ無シト主張ス爰ニ於テカ折衷主義ノ論者ハ其中間ヲ取り正義ト利益トハ兩ツナカラ相離ル可カラス單ニ利益不利益ノ一點ヲ去就ノ標準トスルハ徳義ノ許サ、ル所ナリト雖モ亦偏ニ正邪善惡ノ絶對的觀念ヲ基本トスルハ道徳ノ範圍ニ屬シ社會制度ノ權限ニ非サルヲ以テ正義ト利益トヲ折衷シテ初メテ真理ニ適合スルモノナリト唱道シ現今多數ノ學者ハ此主義ヲ贊同ス然レトモ其所謂正義ト利益トヲ配合スル理論ノ異同ニ因リ三種ノ區別アリ其第一說ハ社會ノ利益トスル所即チ正義ナリト云ヒ第二說ハ正義ノ許ス範圍内ニ於テ社會ノ利益ヲ保全スヘシト云ヒ第三說ハ社會ニ利益アル限リ正義ノ要求ヲ容ル、ヘシト云フ此第一說ニ至リテハ既ニ正義ノ觀念ヲ利益ノ中ニ含蓄スルモ

ノト認ムルカ故ニ之ヲ除クモ説明シ得ルニ拘ハラズ必ス正義ナルモノヲ排斥スル克ハストスルノ缺點アリ且又利益ハ正義ナリト云フトキハ其主義ナルモノト純正主義並ニ折衷主義ノ唱道スル正義ノ外ニ別ノ一ノ正義ヲ作為スルモノニシテ文字ヲ採リテ意味ヲ取ラサル論ナリ第二說第三說ハ立論ノ順序ヲ異ニスルノミニシテ結果ハ同一ニ歸スルモノトス而シテ現行刑法ハ起草者ノ說ヲ容レ折衷主義ヲ採用シタルモノナルカ故ニ暫ク其理論ヲ陳述セント欲ス折衷主義ノ說ニ曰ク吾人々類ハ正善ニ餘慶アリ邪惡ニ餘殃ナカル可カラスト云フ義ノ觀念ヲ有ス此正義ノ觀念タルヤ吾人ノ良心カ明カニ指定スル所ニシテ少シク吾人ノ理想ニ照セハ疑ヲ容ル、餘地アルコトナシ是ヲ以テ惡ハ爲ス可カラズ善ハ爲サ、ル可カラスト云フ徳義ノ大則ヲ生ス但シ人類ニシテ爲サント欲スルコトハ之ヲ爲スヲ得爲サ、ラント欲スルコトハ之ヲ爲サ、ルヲ得ルノ自由ナクンハ未タ以テ其責任ヲ生セシムルニ足ラス略言スレハ一方ニ徳義ノ大則アリ他ノ一方ニ去就ノ自由アルヲ以テ人ハ其行爲ニ付キ責任ヲ負ヒ徳義上ノ制裁アルノ必要ヲ生ス制裁ハ賞罰ノ二途ヲ出ツルコトナシ果シテ然



ラハ邪惡ノ所爲ニ對シ刑罰ナル制裁ヲ科スルハ良心ノ命スル所正義ヲ満足セ  
 シムルモノニ非スシテ何ソヤ故ニ刑ハ惡事ト苦痛トノ必然的關係ナリ(Rapport  
 nécessaire de la douleur a la faute)ト云フヘキノミ此ノ如ク刑罰ノ設ケアルハ既ニ  
 正義ノ命スル所即チ刑罰其者ハ正當ナリト雖モ刑ヲ科スルノ所爲カ正當ナル  
 ニハ之ヲ科スルノ權力アル者ニ依リテ科セラレサル可カラス爰ニ於テカ社會  
 カ此權力ヲ有シ人類ハ道義ノ命令ニ從フト同時ニ社會ノ權力ニ從フノ必要ア  
 ルヲ論セサル可カラズ抑人ハ現ニ結社的生活ヲ營ミ又營マサルヲ得サルモノ  
 ナリ社會カ人類ニ必要ナル以上ハ人ハ社會ノ生存ニ必要ナル制度ヲ設クルコ  
 トヲ得然レトモ社會ノ外ニ道義モ人生ノ必要條件ナルヲ以テ道義ニ反セス社  
 會ノ生存ニ必要ナル範圍内ニ於テノミ如何ナル制度ヲモ設ケ得ルモノト云ハ  
 サルヘカラス刑罰ハ社會ノ生存ニ必要ナルモノナリ故ニ道義ニ反セサル限リ  
 社會ノ之ヲ科スルハ正當ナリト云フヘシ若シ夫レ正義ノ大則ノミヲ論スルニ  
 至リテハ社會ノ權力ノ外ニ在リテ道德ノ範圍ニ屬シ社會ノ生存ニ必要ナルノ  
 一點ヲ採ラハ道義ノ大則ヲ蹂躪シテ人間ノ本性ニ反ス之ヲ要スルニ(一)社會ノ

權力ハ道德違反ノ行爲全體ヲ罰スヘキモノニ非ス(二)但シ道德ニ違反セルモノ  
 ニ非サレハ之ヲ罰スルコトヲ得ス(三)道德ノ規則ヲ破リ且社會ノ利益ヲ害スル  
 モノニ至リ社會ハ初テ之ヲ罰スルコトヲ得(四)刑罰ハ道德ノ規則ニ依リテ其分  
 量ヲ定ムヘシ(五)社會ニ與ヘタル實害ヲ標準トシ之ト刑トノ權衡ヲ保タサル可  
 カラスト云フニ歸スト

(註)折衷主義ハ現今多數ノ學者ノ採用スル所ナルヲ以テ盡ク其名其著書ヲ舉  
 グレハ殆ト際涯ナカラントス然レトモ之カ主唱者ハ伊太利ノ Bossi 氏ニシテ  
 刑法學者ノ雷名ヲ轟セタル Hans Gariand Crtolan ノ諸氏ヲ初メ起草者 Boissonade  
 先生ハ皆之ヲ賛同サレタルヲ注意セサル可カラス一昨年 Principes Fondamen-  
 taux de la Penalité(刑罰原論)ト云フ有益ナル書ヲ著ハシタル Vidal 氏ノ如キモ亦  
 然リ日本刑法ノ註釋書中獨リ刑法論綱、日本刑法講義井上正一先生著ヲ除キ  
 其他ノ刑法述義、刑法講義井上操先生著等ハ同シク折衷主義ヲ取ラレタリ  
 (十二)折衷主義ハ千八百三十二年佛國刑法改正ノ原因トナリ爾來成文ノ刑典  
 アルモノニシテ此主義ヲ採用シ其理論ヲ適用シテ罪ト刑トヲ定メタルモノハ



殆ント稀ナリ此ノ如ク汎ク行ハレ多數ノ唱道スル所タルニ拘ハラズ其當否ニ至リテハ我輩大ニ疑ナキヲ得ス乞フ諸君ト共ニ是ヨリ其疑問ヲ講究セシ折衷主義(純正主義ハ勿論)ノ論者カ戀々トシテ離ル、能ハサル正義ノ觀念ハ其一部分ニ於テハ疑モ無ク真理ヲ含ムモノトス何ヲカ正義ノ觀念ノ中ニ含ム真理ト云フカ爲スヘキ事ハ爲サル可カラサル事ハ爲ス可カラスト云フ思想是ナリ此絕對思想ハ如何ナル主義ノ學說ヲ取ルモ其根源ニ含蓄セサルモノ無シ故ニ折衷主義ノ論者ノ所謂正義ヲシテ單ニ爲ス可カラサル事ハ爲ス可カラズ爲ス可キ事ハ爲サル可カラスト云フ絕對思想ニ止マラシメ之ヲ誤謬ナリトシテ反對スル克ハスト雖モ此ノ如ク空漠ナル規則ハ以テ一學科ノ證據トナスニ足ラス是ニ於テカ純正主義並ニ折衷主義ノ學者ハ他ノ論法ヲ藉リ來リテ曰ク人ハ盡ク良心ヲ具フ德義ノ要求スル爲ス可キ事、爲ス可カラサル事ヲ示定ス即チ吾人ノ良心カ然スヘシト示定スル所ヲ爲ス可カラスト示定スル所ヲ爲サル之ヲ正義ト云フ此主旨ハ哲學上ノ用語ニ換言スレハ正義ハ良心カ示定スル爲ス不爲ノ必然的關係ナリト云フニ歸ス從來純正主義並ニ

折衷主義ノ唱道スル正義カ此ノ如キ性質ノモノタルコト十分ニ了解セサレハ以テ其當否ヲ論スル能ハス正義即チ良心カ示定スル爲ス不爲ノ必然的關係ト云フ觀念ノ當否ハ左ノ二點ヨリ論究セサル可カラズ曰ク如何ナル者ハ之ヲ爲スヘク如何ナル者ハ之ヲ爲ス可カラサルヤ即チ爲ス不爲ノ必然的關係トハ何者ヲ云フカ曰ク爲ス不爲ノ必然的關係ナル者アリトセハ果シテ吾人ハ之ヲ示定スル良心ナルモノナリ有スルカ第一問即チ何ヲ爲ス不爲ノ必然的關係ト云フカト云フ問題ニ對シ折衷主義ノ學者答テ曰ク事々物々ニ對シ吾人ノ良心カ之ヲ爲スヘシト示定シタルモノハ爲スヘキモノナリ之ヲ爲ス可カラスト示定シタルモノハ爲ス可カラサルモノナリト此答ニ對シ諸君ハ如何ナル感覺ヲ招カル、ヤ吾人ニ良心アリト假定シテ然ル上ノ言ナルハ一目瞭然タル可シ可ナリ我輩モ假ニ吾人ハ良心ヲ具フルモノトセン然レトモ其所謂良心ノ示定セシ爲スヘキ事、爲ス可カラサル事ハ時ニ依リ處ニ依リ人ニ依リ一樣ナラサルニ非スヤ無數ノ實例ヲ一々列舉スルマテモ無シ昨、忠孝ノ所行タリシ復讐、今日殺人犯トナリ歐洲人士ノ得意トスル決闘



モ斷然一箇ノ犯罪トシテ我大日本帝國ニ容レラレス而シテ論者ノ採用スヘシト爲ス正義ノ論ハ現ニ我輩ノ採ル可カサルモノト爲スニ非スヤ若シ夫レ爲ス可キ事爲ス可カラサル事即チ爲不爲ノ必然的關係ノ外象此ノ如ク變遷異同顯著ナラハ(一)其何レカ良心ニ示定サレタルモノナリヤ(二)甲乙共ニ良心ノ示定シタルモノナラハ良心ハ全ク反對ノ示定ヲ與フルコトアルニ非スヤ(三)良心カ一物ニ付キ二箇ノ正反對ナル示定ヲ與ヘタル時ハ甲ノ採ル可ク乙ノ採ル可カラサルハ何者カ示定スルカ(四)甲乙ノ取捨モ亦良心之ヲ示定セハ人ハ何箇ノ良心ヲ有スルヤ夫レ然リ甲乙共ニ良心ノ示定ナリトシ其取捨モ亦良心ノ示定スル所ナリトセハ少クモ二箇以上ノ良心ナカル可カラス(五)之ニ反シテ甲乙中一ハ良心ノ示定スル所ニシテ一ハ良心ニ反スルモノトセンカ此ノ如キ判斷ハ何者カ之ヲ下スカ假リニ此判斷モ亦良心ノ下ス所ナリトセン唯良心カ示定シ良心カ取捨ヲ判斷スル爲不爲ノ關係ノ千差萬別ニ變遷轉化スル妙理ハ何ニ由リテ説明スヘキ

第二ノ點即チ吾人ハ良心ヲ有スルカト云フ問題ニ對シ純正主義ハ勿論折衷主

義ノ論者モ異口同音ニ吾人カ良心ヲ具フルハ實驗ニ徴シテ明カナリト云ヒ然ラハ何チ良心ト云フカノ問題ニ對シ爲不爲ノ必然的關係ヲ示定スル心性能力ナリト答フ是ニ於テ深ク其理論ヲ考フルトキハ正義ハ良心ニ示サレ良心ハ正義ヲ示ス能力ナリト云フニ外ナラス夫レ爲スヘキコト爲ス可カラサルコトカ千態萬様時ニ依リ所ニ依リ人ニ依リ盡ク同一ナラサルハ前段ニ述フル如シ果シテ然ラハ其何レヲ示定シタル者カ良心ナリヤ取捨ノ判斷ヲ下シタルモノハ何者ナリヤ假ニ卑近ナル例ヲ舉ケテ此ノ疑問ノ位置ヲ明カニセン我日本帝國ハ去ル明治二十二年十二月廿八日法律第三十四號ヲ以テ決闘ヲ犯罪ト認メタリ然ルニ佛國ニ於テハ路易十四世ノ嚴格ナル決闘律ハ其效力ヲ失ヒ爾來今日ニ至ツテ犯罪タルヤ否ヤ(佛刑法第二百九十五條第三百五條ニ含蓄サル、ヤ否ヤ)モ不明ナリトス故ニ佛國人ハ之ヲ以テ德義ニ反セスト認メ日本人ハ德義ニ反スルモノト認メタリトセヨ何レカ良心ニ示定セラレタルモノナリヤ日本人ニ良心アリ佛國人ニ良心ナシトセンカ將タ又佛國人ト雖モ良心ニハ之ヲ潔シトセサルトセンカ此判斷ヲ下ス良心ハ何人カ之ヲ有スルカ否之ヲ取捨スルモ



ノハ良心ノ外ニ他ノ理由ナキカ正義論者常套ノ語トシテ正義ハ之ヲ唱道スル人ノ多少ニ因リテ變スルコトナク實際ニ行ハル、ト否トニ因リテ異ナルコトナシト云フ然ラハ遂ニ良心ナルモノハ之ヲ具フルモ人ニ因リ發揮サル、コト、發揮サレサルコトアリト云フノ已ムヲ得サルニ至ラン之ヲ要スルニ爲スヘキコト爲ス可カラサルコトハ時ト所ト人トニ因リ千種萬様ナリ之ヲ示定スル良心ナルモノアリトスルモ或ハ發揮シ或ハ發揮セサルコトアルヲ以テ折衷主義ノ論者ノ所謂正義ト云ヒ道德ト云フモノハ曖昧トシテ規則モ範圍モ甚タ不明ナリト云ハサル可カラス故ニ(一)論者カ社會ノ權力ハ道德反違ノ行爲全體ヲ罰スル克ハスト云フト雖モ如何ナル所爲カ道德ニ違反スルカヲ識別スルノ途ナシ(二)刑ト罰トノ權衡ヲ保ツニ實害ト苦痛トノ比較ヲ以テスルハ道德ノ命スル所ナリト雖モ之ヲ命スル道德ナルモノハ架空ノ妄想ニ外ナラス

〔十三〕 自然法主義

古來人間ハ道理ヲ辨フルカ故ニ萬物ノ靈ナリト云ヒ或ハ正義ヲ識別スル良心ヲ具フルカ爲メニ禽獸ヲ支配スル法ハ毫モ人類ニ

少シク種族ヲ異ニシ其言語ニ於テモ多少ノ異同アリシ如シ然レトモ今日ニ至テハ兩語ニ殆ント異同ナキナリ又種族ニ於テモ同一ナリト認ムヘシ抑葡萄牙ハ誰モ知レル如ク十六世紀中ハ旺盛ナル貿易國ニシテ其植民地ハ世界ニ散在シ東洋ノ航海權ヲ專有シタリシコトハ現ニ事實ナリ然ルニ十七世紀以降國勢漸ク衰頽シ實際英國ノ保護國ノ如キ觀ヲ呈シ英人ハ此國ノ財源ヲ以テ自ラ肥ス商略ヲ執リシニ奈翁ノ侵入スルニ及ンテ國王ハ難ヲブラシルニ避ケ佛兵全土ニ據リシヲ以テ英國ハ其將ウエルスレイ(後ウエリントン公爵)ヲ遣リ佛兵ヲ撃タシメ遂ニ之ヲ國疆ノ外ニ逐フタリ爾來英兵此ニ屯シ英將ベルスフアド陸軍大將ニ任シ國家ノ大權ヲ掌握シテ頗ル專横ノ跡アリ陸軍士官ノ三分ノ一ハ英人ヲ以テ充タシ陸軍豫算ハ國庫收入ノ三分ノ二ヲ占メ加之ナラスベルスフアド人ト爲リ傲慢無禮ナリ是ヲ以テ葡萄牙人大ニ怒レリ又王室ヲ觀ルニ千八百十六年ブラジル兼葡萄牙ノ國君タル女皇マリア狂疾ニ罹リテ殂シ其子デオアム後ヲ承ケテ踐祚シタリシカ葡人ハ皆其國王ノブラジルニ住シテ本國ヲ治ムルコトヲ悅ハス速ニ本國ノ首府リスボアニ還リテ政ヲ執ランコトヲ望ミ



タリ然レトモ國王毫モ國民ノ意向如何ヲ顧ミス却テ國王ノ内諭ヲ以テ本國屈指ノ貴族及ヒ豪商等ヲ説キテブラシルニ移住セシメ依テ資財人員ヲブラシルニ移シ以テウルガイノ叛亂ヲ鎮定スル費用ニ供セント圖レリ是ニ於テ國民痛ク王室ノ慈仁ニ乏シキヲ怒ミ又英人ノ跋扈ヲ憤リ其極千八百十七年陸軍士官ノ謀反ヲ企ツルニ至リシモ難ナク鎮定ニ歸シ有力ノ士官十二人事ニ與リテ刑セラレタリ爾來英將ニ對スル國民ノ怨恨一層其度ヲ高メ施政頗ル困難ナルヨリ遂ニ千八百二十年西班牙革命ニ際シ施政ノ方針ニ關シ國王ヂオアム六世ト協議ヲ遂ケントベルスフアドハブラシルヘ赴ケリ氏去リテ後四箇月オポルト市ニ革命起リ全國續キテ蜂起シ臨時政務委員ヲ選定シ議會ヲ開設シ西班牙憲法ヲ模範トシテ葡萄牙憲法ヲ制定スルコトニ決シ革命ノ精神闔國ヲ風靡セリ而シテ當時ノ國王ハ人ト爲リ溫柔ナリシヲ以テ民心ニ逆フコトヲ好マス議會ノ決議王室ノ利益ヲ害セサル上ハ本國ヘ還御アルヘキ旨ヲ約シタリ

此時ニ當リブラシルニ於テモ革命黨蔓延シ臨時政務委員ヲ選定シ葡國憲法ヲ遵守スルコトニ決議シタリ然レトモ當時尙ホ憲法制定中ナリシヲ以テ如何ナ

ル性質ノ憲法發布セララル、ヤ未タ判然セサルニ政務委員ハ早ク既ニ之ヲ遵守スヘキコトヲ誓ヒ軍人及ヒ皇太子ドンペドロモ亦革命ニ左袒シデオアム六世ニ迫リテ本國ニ還リ皇太子ヲ留メテ攝政ト爲サシメタリ葡萄牙王是ニ於テ遂ニブラシルヲ去リ千八百二十一年七月三日リスボアニ著ス翌年十月一日新憲法成リシヲ以テ國王ハ之ニ對シテ永ク大典トシテ遵守スヘキコトヲ誓ヒ皇太子ドンミゲルヲシテ亦之ニ誓ハシメ併セテ皇太子ドンペドロヲモ之ニ誓ハシメントセリ獨リ唯、皇后カルロッタノミ之ニ對シテ異議ヲ狹ミタリ

抑、皇后ハ西班牙王ノ妹ニシテ皇兄ニ等シク極メテ固陋ナル保守家ノ一人ナリ故ニ在來ノ君主政體ヲ廢シ新ニ立憲制度ヲ設クルカ如キハ夙ニ其反對スル所ナリ此ニ至テ窃ニ僧侶及ヒ賤民等ヲ煽動シテ亂ヲ起サンコトヲ謀レリ蓋シ僧侶社會ハ總シテ保守主義ナルヲ以テ今回ノ如キ進歩的一大改革ニ對シテハ無論反對セサルヲ得ス又下流人民等ニ至テハ國家ノ制度ニ關シ精確ナル知識ヲ有スルモノニアラス唯、如何ナル政體ニテモ彼等ノ常ニ希望スル租稅輕減ノ實ヲ擧クルモノ是レ即チ彼等ノ歡呼稱賛スル所ノ政體ナリ故ニ彼等ヲ籠絡スル



ハ唯、租稅輕減ノ一事ヲ以テ足レリトス斯クシテ皇后ハ屢、僧徒ヲ其宮殿ニ會シテ陰ニ事ヲ議シ又第二ノ皇子ミゲルヲ説ヒテ此陰謀ニ與ラシメタリシカ皇后ノ誓言スルヲ拒マル、ニ及ンテ臨時政務委員ハ皇后ヲ以テ謀主ト認メ國外ニ放逐セント爲タルモ病ト稱シテ宮ヲ出テサリシカハ已ムコトヲ得ス離宮ニ幽閉セラレタリ然ルニ憲法發布後八ヶ月ヲ經テ皇后ハ再ヒ皇子ミゲルト謀リ兵ヲ以テ議會ヲ開散シ議員ハ多ク英國ニ逃レタリ國王ジョーンヲ里斯本ニ迎ヘテ再ヒ王位ニ即カシメミゲル自ラ陸軍總督ノ要職ニ登リシカ人民等ハ却テ之ヲ歡呼シタリ此ニ於テ葡國ノ政柄ハ再ヒ國王ジョーンノ手ニ歸シタリシモ王ハ元來好人物ナルヲ以テ皇后ノ熱心ニ德恩スル專制主義ヲ好マスシテ反テ改進黨義ニ傾キタル人士ノ説ヲ採用シタルカ爲メ大ニ皇后ノ怒ヲ招キ皇后ハ内閣大臣中ノ一人ヲ殿中ニ擊殺セシメテ王ノ反省ヲ趣シタルモ王之覺ラス依テ王ニ讓位セシメント謀リ皇子ドンミゲル翌二十四年四月三十日兵ヲ從ヘテ宮城ニ入り父ニ迫リ強ヒテ專制主義ノ大臣ヲ任用セシメタリ然ルニ英國ヲ始メ其他各國ノ公使等ハ此暴舉ニ對シ大ニ不平ヲ鳴シ皇后及ヒ皇子等ノ處置ヲ非難

シタルノミナラス國王モ亦自ラ身ヲ英國軍艦ニ投シ救諭ヲ以テ朝廷ニ於ケル今回ノ顛末ヲ人民ニ報告シタルカ爲メ人心一時ニ沸騰シ皇子ミゲル身ヲ措クニ所ナク終ニ書ヲ父ニ致シテ其罪ヲ謝シテ埃國維也納ニ放逐セラレ又皇后ハ憂苦ノ餘再ヒ所勞ト披露シテ難ヲ免レ事一旦落著シタリ然リ而シテブラジルハ葡萄牙ノ如キ小國ノ所屬タルコトヲ甘セス別ニ獨立國タランコトヲ欲シ其仲裁ヲ英國ニ依頼シタリシカ遂ニ英國ノ周旋盡力ニ依リ千八百二十五年十一月十五日新ニ一獨立帝國ヲブラジルニ建テ葡萄牙王ジョーンノ太子ドン、ペドロヲ戴テ其皇帝トナシタリ

### 英國

次ニ千八百十五年ヨリ同三十年ニ至ル英國ノ狀態ヲ陳ヘンニ英國ハ佛國ト干戈ヲ交フル事二十年奈翁ノ爲メ歐洲諸外國ハ英國ノ製造品ヲ輸入スルコトヲ禁止セラレタルコトナリシカ之カ爲メ英國ハ如何ナル影響ヲ受ケタルカヲ觀ルニ甚シキ損害ヲ蒙ラサリシナリ今其理由ヲ考フルニ左ノ二點ニ歸スルモノ



、如シ即チ第一當時奈翁ハ和蘭ヲ征服シテ之ヲ其兄ニ與ヘ以テ王國ト爲シ其後之ヲ廢シテ單ニ佛國ノ一領地ト爲セリ此ニ於テ英國ハ和蘭ノ植民地ヲ奪ヒ以テ其商業上ニ受クル所ノ損害ヲ填補シタリ第二歐洲各國ハ奈翁ノ威權ニ懾服シ英國ノ製造品ヲ公然購求スルコト無カリシモ鐵器及ヒ毛織物ノ如キハ竊ニ之ヲ輸入シタリ固ヨリ此輸入契約ハ總テ口頭ナリト雖モ能ク實直ニ之ヲ履行シタリ以上二箇ノ原因ニヨリ英國ノ商業ハ奈翁ノ政略ノ爲メニ著シキ損害ヲ蒙ラサリシナレト此間ニ英國ノ國債大ニ増加シテ金貨四十億圓以上ニ達シ一年ノ經常費ノ如キモ金貨ノ五億七千萬圓ニ登リシト云フ

斯ク多額ノ經費ヲ要スルコトナリシヲ以テ人民ノ負擔スヘキ租稅モ隨テ重カラサルヲ得ス而シテ當時存在シタル法律ノ結果ハ不幸ニモ此重稅ヲ專ラ中等以下ノ人民ニ擔ハシメタリ蓋シ英國ノ貴族等ハ多クハ大地主ニシテ兼テ政權ヲ掌握スルヲ以テ私利ヲ營ムカ爲メ穀令ヲ發シテ外國ヨリ輸入スル穀物ニ重稅ヲ課シ以テ其輸入ヲ拒ミ自然内地ノ穀物ヲシテ高價ナラシメタリ既ニ穀物ニシテ高價ナルトキハ之ヲ以テ製造スル所ノ麵麩モ亦高價ナルハ自然ノ理ナ

リ然ルニ主トシテ此麵麩ヲ食スルモノハ下等人民ニ外ナラサルヲ以テ彼等ハ生活上頗ル困難ナル位置ニ陥レリ之ニ反シテ貴族社會ハ非常ノ利益ヲ得タリ次ニ製造業ニ至テモ同様ニシテ富豪ノ徒ハ巨額ノ資本ヲ投シテ盛ニ製造業ヲ營ムカ爲メ小資本家ハ之カ爲メニ壓倒セラレ破産セサルモノ稀ナリ此ニ於テ彼等ハ小作人若クハ勞働者トシテ生活スルノ外糊口ノ道ナキニ至レリ之ニ加ルニ當時種々巧妙ナル機械ノ發明セララル、アリ大製造場ハ之ヲ利用シテ人力ヲ省キシカハ勞働者ノ需要頓ニ減却シ頗ル憐ムヘキ慘狀ニ陥レリ此等ノ事情ハ實ニ英國ヲシテ千八百三十年ニ至ルマテ其國力ヲ疲弊セシメタル主因ナリトス然レトモ同五十年ニ於テハ全ク之ヲ回復シタリ

又當時ノ議院ハ今日ト異ナリ尙ホ顯理六世ノ時代ト同一ナル選舉法ヲ襲用シタリ然ルニ顯理六世ノ時代ハ第十五紀ノ中葉ナルヲ以テ當時トハ殆ト四百年以前ナリ其間ニハ文物頗ル變遷シ彼ノ製造業ノ如キ運輸業ノ如キ若クハ器械的文明ノ如キ一トシテ十八九二世紀間ノ發達進歩ニアラサルハナク四百年前ニ於テハ未タ曾テ看サル所ノモノナリ而シテ此等ノ發達進歩ト共ニ昔時繁榮



比類ナキ都府モ當時ハ寂寞タル寒村ニ化セルモノ尠カラス又昔時ハ微々タル  
 小村落ナリシモ當時ニ在テハ著名ノ一大都府ト變シタルモノナキニアラス  
 是ヲ以テ人口十萬以上ノ都會ト雖モ代議士ナキアリ之ニ反シテ選舉權ヲ有ス  
 ル者十數人ニ過キササル一村ニシテ代議士ヲ有セルアリ又スコットランドノ或州  
 ニ於テハ選舉權ヲ有スルモノ唯一人アルノミナルヲ以テ自ラ選舉長ノ席ニ著  
 キ自ラ投票シテ自ラ議員ニ當選スル等ノ奇談アリ要スルニ當時ノ選舉法ハ社  
 會ノ進歩ニ伴ハサルコト明ケシ然ルニ上院ハ貴族ノミヲ以テ組織シ下院ハ地  
 稅ヲ以テ議員ノ資格ヲ制限シタルヲ以テ地主ニアラサレハ下院議員ノ選舉權  
 ナシ而シテ地主ハ多ク貴族ナルヲ以テ彼等ハ小作人ノ徒ニ遊說シテ自己ノ意  
 ニ適スルモノヲ選舉セシムルカ故ニ下院議員ノ十中八九ハ上院議員ト同性質  
 ナリシ議院ノ有様斯ノ如クナルヲ以テ當時穀物ノ高價ナル租稅ノ偏重ナル貧  
 民凍餒ニ苦シムト雖モ下院議員ノ大數ハ毫モ下民ノ情態ニ留意セズ縱令多少  
 有識ノ議員ニシテ此ニ著眼スルコトアルモ此等ノ人トテモ貴族等ノ周旋ニ依  
 リテ當選シタル者ナルヲ以テ情實ノ爲メニ敢テ斷乎タル改革ヲ主張スルコト

ル高増シ利子歩合増セハ其高減ス

マーシャル氏曰ク毎年一國ノ資本高ニ加ハリ行ク増加高ハ現存資本總高ニ比  
 較スレハ九牛ノ一毛ニ過キス故ニ一ノ短キ時期間ニ於テハ資本ノ供給ハ不動  
 ト認定スルモ大ナル過チナカルヘシ斯ク認定スル場合ニ於テハ利子歩合ノ原  
 則ハ其供給ヲ増加スル能ハサル貨物ノ價格ヲ支配スル原則ト同様ナルヘシ即  
 チ價格ヲ定ムルモノハ獨リ需要ノ一方アルノミ利子ノ歩合ハ現存ノ資本高ニ  
 對シテ丁度需要ヲ引起スニ足ル歩合ヲ以テ定マルヘシ  
 夫レ然リ然リト雖モ長キ時期間ニ於テハ利子歩合カ資本ノ増加ニ及ボス影響  
 ナ不問ニ措クヘカラサルモノアリソレテ問題カ六箇敷ナル(中略)先ツ假定セヨ  
 利子ノ歩合即チ資本ノ利用ニ對スル代價ハ資本ノ増加ニ重大ナル影響ヲ及ボ  
 スモノナリト尙ホ假想セヨ人民ハ若シ五分ノ利子ヲ受クルヲ得ハ非常ニ其貯  
 蓄心ヲ勵マシテ貯蓄著シク増加シ(貯蓄ノ眞意ハ諸君能ク記憶セラル、ナラン)  
 若シ五分ニ達セサレハ貯蓄ヲ停メテ消費ヲ始ムト此場合ニ於テハ確實ナル運  
 用(現業ニ運轉利用スルヲ云フ意ナラン)ニ對スル利子ノ平準歩合ハ五分ナルヘ



シ何トナレハ利子ノ歩合五分以上ナルトキハ資本ハ増加シテ止マサルナリ而シテ資本ノ増加ハ生産ノ分配ヲシテ勞力ノ意味ハ前ト同シニ利ナラシメ資本ニ不利ナラシメ之ニ反シテ若シ五分ニ達セザルトキハ資本ノ増加ハ中止スヘシ而シテ資本ヲ消費スル者モ多カルヘシ故ニ資本ノ助力ニ對スル勞力ノ需要ハ増加シ生産ノ分配ハ資本ノ方ニ好都合ニシテ給料ノ方ニ不都合ナルヘシ而シテ利子ノ歩合ハ再ヒ五分ニ達スヘケレハナリ斯ノ如ク五分ト云フ歩合ハ即チ利子ノ平準線ニシテ例ヘハ平準線ヲ離レテ上ニアリ或ハ下ニアルモノレハ本ノ一時ノ規則外ツレト云フヘキモノニシテ其外ツレルヤ否ヤ直ニ平準線ニ復スルノ運動ヲ始ムルモノト知ルヘシ

右ノ假定ニ據レハ新ニ植民地ノ開ケルトカ或ハ固著資本(補助資本ト云フ方カマーシヤル氏ノ用語一定ニ出テ宜シカルヘシ併シ先ツ原語ニ從ヒ固著ト譯ス)ノ使用増加ヲ促ス新發明アルトカニテ資本利用ノ範圍ニ變動アルニモ拘ハラズ利子ノ平準歩合ハ五分ナルヘシ尤モ右ノ如キ變動ハ一時利子ノ歩合ヲ引上クヘシ併シ斯ク利子ノ歩合ヲ引上クルトキハ(前ノ假定ニヨレハ)資本ノ増加ヲ

促スヘシ而シテ利子ノ歩合五分以上ヲ保ツコトハ長キ年月ノ間ナラサルヘシ果シテ然ラハ今此處ノ論題ナル假定ノ場合ニ於テハ利子ノ平準價格ノ定マル有様ハ生産高ノ多少ニ拘ハラズ其生産費ヲ同クスル貨物ノ平準價格ノ定マルト同一ナリ(即チ平準價格ハ生産費ノミニ依リ定マルコトヲ云フナラン)

前ノ如ク論シ來リタルモ利子歩合カ資本ノ増加ニ及ボス勢力ハ其實我々カ前ニ假想シタルカ如クニ強盛ナラサルナリ人ノ貯蓄スル目的主意ハ種々様々ニシテ其性質モ亦大ニ異ナリ或ル者ハ利子如何ニ高クトモ浪費スルナラン或ル者ハ利子如何ニ薄クトモ家族ノ爲メ養老ノ爲メニ貯蓄スルナラン概シテ利子歩合ノ低下ハ或ル部分ニ於テ資本ノ増加ヲ妨ケ或ル部分ニ於テ勵マスヘシ併シ妨ケル部分ハ大ニシテ勵マス部分ハ少ナルヘシ故ニ利子歩合ノ低下ハ資本ノ増進ヲ多少妨ケサルハナシ

再ヒ約言スレハ

資本ニ對スル需要ハ(不生産的消費者ヨリ起ル需要ハ先ツ措キ)(一)國ノ富源如何(二)産業ニ就ク人民ノ數ノ多少(三)生産上藝術ノ程度如何ニ關ス



前項ノ需要ハ即チ其國資本ノ一定ノ現存額ヲ利用スルニ就キテノ利子歩合ヲ定ムルモノトス  
 資本ノ供給ハ種々ノ原因ニ關スルモ其進歩ハ決シテ容易ノモノニアラス但シ利子ノ歩合モ該原因ノ一ナリ(マーシャル氏ハ資本増進ノ原因ヲ他ノ處ニ於テ詳説セリ我輩モ亦既ニ此事ヲ詳説セリ)

マーシャル氏曰ク英國ニ於ケル利子ノ平準歩合ハ年ニ四分ナリ而シテ英國ノ如キ國柄ニ取リテハ利子ノ歩合ニ及ホス外國市場ノ影響ハ決シテ等閑ニ付スヘカラサルモノナリ若シ内國ニ於ケル利子ノ歩合四分以上ニ昇ルトキハ外國ニ移出スル所ノ資本ノ大部分ハ内國ニ止マルヘシ資本ノ利用ハ内國ニ於テ一層増加スヘシ勞力ノ助力ニ對スル資本ノ需要増加スヘシ而シテ此變動ハ利子ヲ減シテ勞銀ヲ増スノ結果ヲ來スヘシ之ニ反シテ利子ノ歩合若シ四分以下ニ減スルトキハ内國ニ於テ利用ノ道ヲ求ムルノ資本ハ大ニ其額ヲ減少スヘシ勞力ノ助力ニ對スル資本ノ競争ハ一層減少スヘシ而シテ資本ト勞力ト働キニ於テ生シタル生産高ノ分配ハ資本ノ方ニ好都合トナリ利子ノ歩合ヲ増加スヘシ

案スルニミル氏ハ利子ノ歩合ヲ二種ニ區別ス第一ハ資本ノ外國へ出ツルト内國ニ止マルトノ限界ヲ表スル歩合第二ハ人ノ貯蓄心ヲ促スニ足ルト足ラサルトノ限界ヲ表スル歩合ナリ利子ノ歩合ニシテ或額以下ニ降ルトキハ資本ノ利ハ外國ニ多キカ故ニ其外出ヲ止ム又利子ノ歩合或額以上ニ昇ルトキハ資本ノ利ハ内國ニ多キカ故ニ獎勵スルニ足ルモ或額以下ニ降ルトキハ人民ノ貯蓄心ヲ促スニ足ラサル事トナルヘシ日本ノ如キ資本ノ未タ豊ナラサル國ニ於テハ資本ノ外出抑云フコトハナカルヘシ然レトモ若シ外國ニ於テ充分ノ利益ヲ得ラル、ノ見込アラハ假令資本豊ナラサルモ必スシモ外出セストハ限ラサルナリ又日本ニ於テハ人民ノ貯蓄心ヲ促スニ足ラサル利子ノ歩合ハ何程ナルヤ六分ナルヤ五分ナルヤ或ハ四分ナルヤ三分ナルヤト云フ問題ニ對シテハ何分ナリト確答スルコトハ到底出來サレトモ利子ハ漸ク減シテ五分トナリ四分トナリ三分トナリ二分トナルモ尙ホ充分ニ人ノ貯蓄心ヲ促シ得ルコトハ之



ナ人情ニ問フテ到底望ムヘカラサルナリ利子ノ歩合減少スルニ從テ人ノ貯蓄心ヲ促スノ力ハ段々薄弱トナリ遂ニハ貯蓄心ヲ促スコト能ハサルノ點ニ達スヘシ

又曰ク英國ニ於ケル利子ノ平準歩合ハ今後數十年間ハ四分ノ上下ニ差シタル變動ヲ起サ、ルヘシ然レトモ資本ノ利用上餘地ヲ生スルト生セサルトノ如何ニ依リ極メテ徐々タル變動ヲ生スヘシ而シテ利子ノ市場歩合マーケットレイト現市場ニ行ハル、日々ノ相場ト云フ意ナリハ平準歩合ノ上下ニ急速ナル變動ヲ爲スモノナリト

又曰ク蒸氣機械ノ發明前ニアリテハ歐洲西部諸國ニ於ケル利子ノ平準歩合ハ數年ヲ待タスシテ現今ノ歩合ヨリモ尙ホ低キ歩合ニ減セントスルノ情勢ナリシカ該機械ノ發明アリタル後ハ補助資本ノ利用上大ナル餘地ヲ與ヘタリ現ニ英國ノ鐵道ニ投下セル資本ノ高ハ七億萬磅ノ巨額ニ達セリ種々ノ發明ハ續々ト起リ外國貿易ハ年ヲ追フテ増進シ資本ノ増加ハ人口ノ増加ヨリモ尙モ一層速カナリシニモ拘ハラズ利子ノ歩合ニ減少ヲ來サ、リキ又資本ト人口ハ日ニ

月ニ急速ナル増進ヲ爲シツ、アルト同時ニ資本ノ利用上新ナル餘地ヲ生スルカ爲メニ却テ利子ノ歩合ヲ増加スルコトアルハ歴史上其例尠ナカラス新開國ニ於テハ生産上澤山ノ收穫アルカ故ニ勞銀ハ高クトモ資本ニ對シ一割若クハ一割以上ノ利子ヲ得ル亦難カラズ然リト雖モ資本ハ舊國ヨリ新國ニ進入シ又土地其他ノ富源ノ數世ヲ歷スシテ私有ノ財産トナリ高キレント土地ナラハ地代ヲ拂ハサレハ之ヲ利用スルコトヲ得サルニ至ルヘシ是ニ於テカ資本ト勞力トノ間ニ分配スヘキ生産高地代ヲ引去リ即チ勞銀兼利子基本ハ收穫遞減法ニ從ヒ資本ノ増加ト同一ノ比例ヲ以テ増加スルコトヲ得ス故ニ斯クナルトキハ最早舊國ト比較シ非常ニ多クノ利子ヲ見ル能ハサルナリ確實ナル運用ニ從事スル資本ニ對シテハ八分ノ利子ノ歩合カ一時北亞米利加全般ニ波及セリ次ニ波及セルハ七分ノ利子ナリ其次ニ波及セルハ六分ナリ而シテ五分ノ利子既ニ東北ノ諸州ヨリ西南ノ諸州ニ向ヒテ發足セリト

又曰ク將來ノ利子歩合ヲ豫告スルハ困難ナル問題ナリ是迄ハ文明ノ進歩ハ僅少ナル利子歩合ヲ以テ能ク人ノ貯蓄心ヲ促スコトヲ得タリ僅少ノ利益ヲモ忍



ヒテ熱心ニ事ヲ取り確實ナル所得ヲ貴重スルノ慣習ヲ爲シタル舊國ニ於テハ  
 利子歩合ノ僅少ナルハ資本ノ増加ヲ妨クルニ於テ格別ノ影響ヲ及ボサ、ルカ  
 如シ例ヘハ英國ニ於テハ利子ノ歩合僅少ナルニモ拘ハラス資本増加ノ額ハ年  
 々平均二億萬磅ノ巨額ニ達ス此額ハ資本總額ノ三十分ノ一強ニ相當ス若シ此  
 増加ノ割合ヲ以テ四百年間ヲ繼續セハ百萬倍ノ巨額ニ達シ八百年間ヲ繼續セ  
 ハ千億倍ノ巨額ニ達スヘシ將來生産上ノ藝術ノ進歩ニ如何ナル望ヲ屬スルモ  
 此ノ如キ巨額ノ資本ニ向ヒテ利用ノ餘地ヲ生スルハ到底望ムヘカラサル事ナ  
 ラン資本ノ増加ハ早晚勞力ノ助力ニ對スル資本ノ競争ヲ増シ資本ノ助力ニ對  
 スル勞力ノ競争ヲ減シ純收入ノ配當上資本ニ對スル分配額ハ比例的ニ減少ス  
 ヘシ又ソレト同時ニ一定ノ資本及ヒ勞力ニ對スル純收入額ハ收穫遞減法ニヨ  
 リ減少スヘシ故ニ利子ノ平準歩合ハ結局減少スルコトナルヘシ然リト雖モ利  
 子ノ平準歩合ハ急速ニ最下限ニ達シテ停滯不動ノ狀ヲ呈スルニ至ルトハ思ハ  
 レサルナリ恐ラクハ細少ノ變動ヲ以テ減少ノ傾向ヲ保チ其減少ノ度合ハ其減  
 少スルニ從ヒテ愈益、緩慢薄弱トナルヘシ而シテ愈、最下限ニ達スルコトハナカ  
 ス

リ故ニ適法ニ歸化シ結婚シ又ハ縁組ヲ爲シタル時ハ新法出テ、其成立條件  
 ナ變更スルコトアルモ既ニ完成シタル歸化結婚若クハ縁組ヨリ生スル分限  
 ハ新法ノ效力ヲ以テ之ヲ廢棄スルコトヲ得ス實ニ身分ナルモノハ吾人ノ有  
 スル權利中最モ重要ノモノニ屬ス

### (乙) 能力ニ關スル法律

吾人ハ舊法ニ依テ如何ニ廣大ナル能力ヲ有スルモ又極メテ狹少ナル能力ヲ  
 有スルモ新法出テ、之ヲ變更スルヤ直ニ其適用ヲ受ケサル可カラズ其結果  
 舊法ニ從テ無能力者タリシ者モ忽チニシテ能力者トナリ能力者タリシ者モ  
 忽チニシテ無能力者トナルコトアリ然レトモ是レ決シテ新法ノ效力ヲ既往  
 ニ及ボシタルニハアラス換言スレハ決シテ權利ヲ侵害シタルモノニアラス  
 實ニ能力不能力ハ法律ノ賦與スル所ニ係リ立法者カ吾人ヲ保護スルノ主意  
 ニ原キタル恩典ニ外ナラサルカ故ニ何人モ法律ノ保護ヲ受ケサル權利アリ  
 ト主張スルコトヲ得ス加之ナラス是レ亦公益ニ關スル法律ニ屬スヘキモノ  
 ナル故私益ハ公益ニ一步ヲ讓ラサル可カラズ



然レトモ茲ニ區別スヘキコトハ舊法ノ下ニアリテ既ニ行ヒタル所爲ハ新法ニ依リテ變更スルコト能ハサルコト是ナリ如何トナレハ其所爲ニ依リテ既得ノ權利ヲ害スルヲ以テナリ例ヘハ舊法ニテ結婚ノ能力ヲ十七歳ニ制限セリ而シテ新法ニテハ二十歳トナス此ノ場合ニ於テ新法ニ依リテハ十七歳ノモノ未ダ其能力ナシ然レトモ既ニナシタル婚姻ハ依然其效力ヲ有ス可シ又新法ヲ以テ財産ヲ賣買讓與スルコトヲ得ヘキ能力ヲ變更スルモ舊法ノ下ニ於テナシタル賣買讓與ハ爲メニ無効トナラス遺贈ノ場合ニ於テモ亦然リ要スルニ人ノ能力ハ新法ヲ以テ變更シ得ルモ既ニナシタル所爲ハ之カ爲メニ無効トスルコトヲ得ス

## 第二 財産ニ關スル法律

### 一 合意ニ關スル法律

合意ニ關スル法律ハ第二條ノ原則ノ最モ完全ナル適用ヲ受ク凡ソ合意上ノコトハ本來各人ノ私益上ノ關係ニシテ其公益ニ關スルコトハ極メテ稀ナルカ故ニ立法者カ之ニ干涉シテ其關係ヲ變更スルモ利益アルコトアラヌ畢竟立法者

カ合意ニ關シテ規則ヲ設定スルハ當事者雙方ノ意思ヲ推測シタルモノニ外ナラス當事者雙方ノ意思カ若シ法律ト異ナルトキハ特約ヲ以テ法律ノ規定ヲ免ル、コトヲ得

既ニ將來ノコトニ就テ法律ノ適用ヲ免ル、コトヲ得ルナレハ既往ノコトニ就テモ其適用ヲ免ル、コトヲ得ル明カナリ即チ新法カ其效力ヲ既往ニ及シテ舊法ノ下ニナシタル合意ヲ推測スルコト能ハサルモ亦明白ナリトス  
右ニ講述スル所ハ第一ニ合意ノ條件ニ適用スルコトヲ得例ヘハ日本ノ現行法ニテハ贈與契約ハ要式ノ契約ニアラス新民法ニ依レハ贈與ハ普通ノ合意ニ要スル條件ノ外ニ公正證書ヲ要スルモノニシテ即チ要式ノ契約ナリ故ニ新民法實施前ニナシタル贈與ニ付テ實施後公正證書ナキノ故ヲ以テ訴訟ノ起ルアルトモ其契約ハ決シテ之ヲ無効トナスコト能ハス  
次ニ又合意ノ效力ニモ適用スルコトヲ得凡ソ合意ナルモノハ其成立スルヤ茲ニ效力ノ生スルモノニシテ合意ト其效力トハ分離スルコト能ハサルモノナリ當事者ハ實ニ合意ヲナストキノ法律ニ從ヒテ其合意ヨリ生スル所ノ義務ヲ負



擔スルモノニシテ未タ知ラサル所ノ法律ニ服從スルハ到底ナシ能ハサル所ナリ既ニ民法財産編ハ適法ニナシタル合意ハ法律ニ均シキ效力ヲ有スト規定セリ法律ニ均シキ效力アルトハ即チ合意ハ法律ナリ時ノ法律ニ從ハサルモノナリト云フニ同シ故ニ當時ノ法律ニ從ハサルモノナレハ將來ノ法律ニモ從ハサルコト明カナリ

次ニ合意ノ廢罷モ亦舊法ニ因ルモノナリ舊法ニ規定シタル解除ノ條件ヲ新法ヲ以テ廢スルモ依然舊法ニ依リテ解除ヲ求ムルコトヲ得又之ニ反シテ新法ニテ新ニ解除ノ原因ヲ得タルモ舊法ノ下ニナシタル合意ノ解除ヲ求ムルコト能ハス

右合意ニ關シテ陳述セシ所ハ又不當ノ利得及ヒ不正ノ損害ニモ之ヲ適用スルコトヲ得不當ノ利得及ヒ不正ノ損害ヨリ生シタル權利ハ後ノ法律ニアリテ之ヲ變更スルコト能ハス

二 相續及ヒ遺言ニ關スル法律

相續及ヒ遺贈ハ本主カ死亡スルカ又ハ隱居セサル限りハ相續人又ハ受遺者ノ

爲メニ少シモ權利ヲ與ヘサル所ノモノナリ故ニ相續及ヒ遺贈ニ關スル法律ハ其效力ヲ既往ニ及ボサス例ヘハ相續人及ヒ受遺者ノ能力ヲ定ムルニハ相續又ハ遺贈ノ開發時期ノ法律ヲ適用シテ舊法ハ開フ所ニアラス然レトモ一旦相續及ヒ遺贈ノ開發スルトキハ既得ノ權利トナリテ吾人ノ資産ヲナス可キカ故ニ新法ヲ適用スルコトヲ得ス

第三 法式及ヒ證據ノ方法ニ關スル法律

一 法式ニ關スル法律

法式上或ル行爲ノ有效無効ヲ知ラント欲セハ總テ其行爲ノアリタルトキノ法律ニヨラサルヘカラス故ニ其當時ノ法律カ命スル所ノ法式ヲ履行スル以上ハ假令新法ヲ以テ其法式ヲ變更スルモ其行爲ハ依然有效ノモノナリ何トナレハ未タ法律ノ定メサル法式ヲ履行スルコトハ到底ナシ得サルコトナルヲ以テナリ即チ既ニ存スル法律ヲ履行シタルハ以テ一ノ既得ノ權利ト看做スヘキモノナレハナリ

二 證據ニ關スル法律



證據ニ關スル法律モ亦其效力ヲ既往ニ及ホスコト能ハス何トナレハ證據ナルモノハ實ニ權利ヲ證明スル方法ナルヲ以テ若シ新法ヲ以テ證據ノ方法ヲ變更シ必ス其規定ニ從ハシムルトセンカ權利ヲ證明スルコト能ハス權利ヲ證明スルコト能ハサレハ結局權利ナキト同一ノ結果ヲ來ス可ケレハナリ故ニ既往ノ事實ハ當時ノ法律ニヨルモノニシテ新法ヲ以テ之ニ適用スルコト能ハス例ヘハ新民法ニ於テ五十圓以上ノ貸借ニハ必ス證書ヲ作成スヘシ(證據編第六十條トアリ然レトモ現行ノ法律ニ於テハ斯ノ如キ制限ナシ故ニ今日五十圓以上ノ貸借ヲナシ新民法實施後ニ於テ其證據ハ書面ヲ以テセサル可カラスト云フコトヲ得ス又新民法ニテハ時効モ亦一ノ證據方法トセリ(證據編第八十九條)然レトモ斯ハ普通ノ證據ト異ナリテ法律上一ノ推定ニ外ナラス即チ權利ヲ取得シタルコト又ハ義務ヲ免レタルコトノ推定是ナリ法律上ノ推定即チ時効アリタリトスルニハ若干ノ歲月ヲ經過スルノ傍ラ法律ニ定ムル條件ヲ具備スルコトヲ要ス故ニ時効ノ未タ成就セサル間ハ將來之ヲ成就スルノ期望ヲ有スルニ過キス未タ既得ノ權利ヲ成サ、ルカ故ニ新法出テ、時効ノ條件ヲ變更センカ直

チニ其適用ヲ受ケサル可カラス然レトモ若シ一タヒ時効ノ成就シタルトキハ法律上有效ナル推定ヲ受ケ一ノ權利トナルカ故ニ新法ハ決シテ之ヲ犯スコトヲ得ス

第四 刑罰ニ關スル法律

刑法ニ關シテ既往ニ遡ラスト云フ原則ハ最モ緊要ニシテ且困難ナル問題ナリ然レトモ其詳細ハ之ヲ措キ唯二三ノ場合ニ付キテ原則ノ適用ヲ示スニ止マル可シ

第一 舊法ノ下ニ於テ或ル行爲ヲナシ舊法ハ之ヲ罰セス而シテ新法ハ之ヲ罰スル場合 此場合ニ於テハ宜シク舊法ヲ適用スヘキモノナリ如何トナレハ何故ニ其行爲ヲナシタルヤト云フニ當時ノ法律ニ於テ之ヲ罰セサルカ故ニシテ後日ニ至リテ新法ノ之ヲ罰スルカ如キハ不條理ノ甚シキモノナレハナリ否ナシ舊法ニ於テ其行爲ヲナシタルハ實ニ之ヲナスノ權利アリタレハナリ故ニ舊法ヲ適用ス可シ新法ヲ適用スルコトヲ得ス

第二 新舊兩法共ニ之ヲ犯罪ナリト認ムルモ其輕重ニ差違ナル場合 此場合



ハ更ニ之ヲ細別シテ二トス

甲 舊法ハ之ヲ輕罪ノ刑ニ處スルモ新法ハ之ニ重罪ノ刑ヲ科ス此場合ニ於テハ原則ヲ適用シテ舊法ニ依リテ處分セサル可カラス何トナレハ豫シメ期スルコト能ハサル後日ノ法律ニ依リテ重罪ノ刑ヲ科スルハ實ニ條理ノ許サ、ル所ナレハナリ又或論者ハ後法ノ爲メニ重罪ノ刑ニ處セラレサルノ權利アリト云フコトヲ得レハナリト云ヘリ

乙 新法カ舊法ヨリ寛ナル場合 此場合ニ於テハ原則ノ適用ヲナスコト能ハス須ラク寛ナル新法ノ規定ニ依リテ處分セサル可カラス蓋シ犯罪ノ當時ニ於テ被告人ハ素ヨリ重罪ニ處セラレヘシト思惟スルカ故ニ舊法ヲ適用シテ更ニ妨ケナキカ如シト雖モ立法者カ新法ヲ制定シタルハ新法ヲ以テ最モ社會ノ需要ニ適合シ良結果ヲ奏スルモノト思考セルカ故ニ外ナラス果シテ然ラハ新法ヲ適用スヘキコト當然ナル可シ加之ナラス元來法律ハ既往ニ遡ラスト云フ原則ハ各人ヲ保護スル目的ノ爲メニ發シタルモノニシテ決シテ各人ノ不利益ニ之ヲ適用ス可キニ非サルナリ

々驚クヘキモノアリト雖モ就中智育ノ進歩ハ更ニ驚クヘシ假令僻村陬郷ノ民ト雖モ殆ント文字ヲ解セサルモノナク新聞雜誌ノ報スル所ハ總テ坐カラ都鄙ノ景況ヲ詳カニスルヲ得其價ノ廉ナル亦非常ナレハ人々得テ之ヲ償フヲ以テ物質上ノ實力未タ之ヲ許サ、ルモ先ツ夙ニ生計ヲ熱鬧ノ地ニ求ントスルノ情ヲ起スハ實ニ已ムヲ得サルナリ然ルニ獨リ佛國ハ此形勢ニ付幸ヲ得タルハ其隣國ニ伊、白アルヲ以テナリ若シ其人々市街ニ向フノ傾キアレハ佛國ハ少シク其勞銀ヲ裕ニシ伊、白ノ農夫ヲ容レ忽チニ其缺ヲ補フヲ得ヘシ伊、白兩國殊ニ白ハ人口ニ富ムヲ以テ之カ需給ヲ充スハ雙方ノ利益ニシテ佛國ハ最モ幸福ヲ得タルモノト云フヘシ

輓近生産分配上ノ變動ヨリ經濟上、社會上ニ及ホス所ノ影響實ニ淺少ニ非ス然レトモ其顯象ハ甚タ複雑ニシテ固ヨリ嚴密ナル計數ヲ以テ之ヲ算出スルヲ得ス多少其結論ヲ推理ノ力ニ借ラサルヲ得スト雖モ近來諸國ノ政府及ヒ志士仁人カヲ經濟上、社會上ノ問題ニ致シ其事績漸ク明カナルヲ得タリ吾人先輩諸士ニ向テ其勞ヲ謝セサルヲ得ス殊ニ英國ハ近來最モ力ヲ此點ニ注キ五十年以來



大ニ統計ノ業ニ努力セリ請フ同國ノ調査ニ據リ輒近進歩ノ景況ヲ略陳セン  
 三十年以來英國ノ富ノ發達ハ實ニ非常ナル度ヲ示シ合衆國及ヒ佛國モ亦實ニ  
 著シキ進歩ヲ爲セリ英國ニ於テハ西曆千八百四十三年乃至八十五年ニ所得稅  
 ナ負擔スル財產高一倍四割ヲ増加シ五十五年ヨリ八十五年マテハ凡ソ一倍ノ  
 増加ヲ示セリ西曆千八百三十五年ニハ遺留相續稅ヲ支拂ヒタル資本金高四千  
 百萬ポンドナリシニ八十五年ニハ増シテ一億八千三百九十三萬ポンドトナレ  
 リ實ニ是五十年間ニ凡ソ四倍ノ増加ヲ示シタルモノトス而シテ西曆千八百八  
 十六年ノ國民ノ總歲入ハ凡ソ十二億七千萬ポンドニシテ富ノ總高ハ凡ソ九十  
 億ポンドニ達セリ佛國ニ於テハ輒近彼ノ償金(凡ソ五十億フラン)ノ支拂ヒ政費  
 ノ増加(年々ノ政府費凡ソ七十七億一千萬フラン)葡萄樹病、五穀ノ不作、パナマ運  
 河開鑿及ヒ銅買占メノ失敗等種々ノ不幸ニ遭遇セシト雖モ人民貯蓄ノ高ハ年  
 々増加シ資本ノ高大ニ増加シ其供給ハ以テ需要ニ越ユルノ勢アリ合衆國ニ於  
 テモ亦其富源非常ニ發達シ近年火災保險ノ業盛大ナ極メ西曆千八百八十八年  
 ニハ前年ニ比シテ保險金高ニ九億ドルノ増加ヲ示セリ實ニ是レ非常ノ増加ニ

シテ合衆國人民カ農業ノ外大ニ商工ノ事業ニ進歩ヲ爲シ併テ其居住ニ著シキ  
 進歩ヲナセシヲ見ルニ足ルヘシ然ルニ是等ノ増加ニ於ケル結果ハ勞力社會ニ  
 如何ナル影響ヲ及ボセシヤナ見ルニ英國ニ於テハバキスタ、レウイ、セヂ、ユウヒキ、  
 ギッフ、エン等諸氏ノ調査ニ據リ其事蹟ヲ明カニスルヲ得タリ  
 英國ニ於テハ五十年前ハ勞力者中其三分ノ一ハ農業ニ從事セシニ今ヤ其比  
 例減シテ八分ノ一トナレリ而シテ五十年前ニハ職工ノ數ハ人口總數ノ三分一  
 ニ止マリシニ今ヤ増シテ四分ノ三ニ達セリ此變化ハ假令勞銀ニ増加ヲ來サ、  
 ルトスルモ細民一般ノ景況ノ進歩ト云ハサルヲ得ス然ルニ同時間英國勞銀ノ  
 報酬ハ貨幣ヲ以テ之ヲ計算スルモ平均殆ント一倍ヲ増加シ近年ニ至リテハ日  
 常需要品ノ價格亦大ニ減少セリ然レトモ生計費用ノ科目中或ハ價格ノ増加ヲ  
 示スモノナシトセス屋賃ノ如キ則チ是レナリ英佛兩國ニ於テ借家ノ數著シク  
 増加シ英ハ西曆千八百七十五年乃至八十五年屋賃收入ヨリシテ所得稅ノ増加  
 スルコト凡ソ三割六分ニ達セリ實ニ英國ニ於テハ西曆千八百四十年以來家屋  
 新築ニ費セシ金高ハ英國ノ國債高(凡ソ八億ポンド)ニ倍スト云フ此ノ如ク家屋



ノ新築増加セシニ拘ハラス尙ホ屋賃ノ増加スルハ實ニ人民ノ所得非常ニ増加  
 スルモノト云フヘシ夫レ衣食住ハ人類ノ三大需要タリ然レトモ衣食先ツ足ラ  
 サレハ何ソ住ニ及ハン住ノ進歩ハ實ニ國ノ最後ノ幸福ヲ示スモノトス殊ニ英  
 國ノ如キ氣候不良ナル國ニ於テハ住家ノ改良ハ非常ノ幸福ト云ハサルヲ得ス  
 眞ニ羨ムニ堪ヘタリ

英國政府ハ經濟上社會上ノ景況ニ注意スルコト最モ深ク毎年重要ナルハ輸入  
 品ハ勿論内國產ノ物品ニシテ内地稅ヲ負擔スル物品ノ量數ノ精密ナル調査ヲ  
 爲シ國民一人ニ付テノ消費高ノ増減ニ注意セリ今是等ノ材料ニ依リ英國人民  
 生計ノ進歩ヲ見ルニ則チ左ノ如シ

一人當リ重要物品消費高表

品名	西曆千八百四十年	同千八百八十六年	同千八百八十七年
鹹臍及 腿肉	英斤 〇、〇一	一一、九五	一一、二九
「バター」	同 一、〇一	七、一七	八、一四
乾酪	同 〇、九二	五、一四	五、三九

「コレンツ」[果物及乾葡萄]

卵	同	一、四五	四、〇二	四、三四
米	筒	三、六三	二八、一二	二九、三七
「コロコ」[飲料材]	英斤	〇、九〇	一〇、七五	七、六九
珈琲	同	〇、〇八	〇、四一	〇、四三
麥及麥粉	同	一、〇八	〇、八六	〇、七九
粗糖	同	四二二、四七	一八五、七六	二二〇、七五
精製糖	同	一五、二〇	四七、二一	五二、九五
茶	同	零	一八、七五	二〇、二五
煙草	同	一、二二	四、八七	四、九五
葡萄酒	同	〇、八六	一、四二	一、四四
火酒(外國製)	「ギヤロン」	〇、二五	〇、三六	〇、三七
同上(内國製)	同	〇、一四	〇、二四	〇、二三
麥芽(モヤシ)	同	〇、八三	〇、七三	〇、七二
	「ブッシュェル」	一、五九	一、六四	未詳



是ニ由テ之ヲ觀レハ近晩英國人民ノ消費ハ著シキ増加ヲ示セリ實ニ是レ學術ノ應用ノ爲メ物價ノ低落セシニ原因スルモノニシテ今貨幣ノ購買力ヲ得シ點ヨリ之ヲ論スレハ西曆千八百三十八年ニハ三十四「シリング」下半「ペンズ」ヲ使用スルニ非スンハ購買スルヲ得サリシ物品ノ數量ヲ得ルニ八十七年ニハ二十八「シリング」五「ペンズ」ニテ足レルノ計算ナリ(八十七年セヂユウキ氏ノ調査ニ係ル)然ルニ三十九年以來英國ノ勞銀歩合ハ既ニ論セシ如ク非常ノ増加ヲ爲シタルヲ以テ英國勞力者ハ實ニ未曾有ノ幸福ヲ得タルモノト云フヘシ

輓近資本家ノ跋扈ヲ論シ勞力社會ハ年々貧困ニ陥ルノ說ヲナスモノ多ク殆ント諸國ト輿論ヲナスト雖モ之ヲ事實ニ徵スルニ敢テ其形績ヲ見ス殊ニ英國ニ於テハ所得稅調査ノ爲メ人民生計ノ景況粗々明カニシテ其實況ヲ得ルニ難カラス則チ種々ノ材料ヨリ調査スルニ其結果終ニ前表ニ示スカ如シ然レハ則チ勞力者ノ年々困弊ニ陥ルトノ說ハ未タ其當ヲ得タルモノニ非ス英國ニシテ既ニ此ノ如クナレハ運輸交通ノ自在ナル今日ニ於テ他ノ諸國ノ景況亦豈ニ甚シ

キ差違アルモノナランヤ然リ而シテ英國人民ノ所有動産ニシテ遺留相續稅ヲ負擔スルモノ五十年間ニ人口ニ比例シテ凡ソ一倍ノ増加ヲ示セリ然ルト雖モ其動産ノ價格ハ敢テ著シキ増加ヲ示サス果シテ然ラハ生計ノ進歩ハ却テ勞力社會ニアリテ上流社會ニ非サルハ復タ疑フヘカラス且ツ夫レ英國ニ於ケル富ノ配當モ亦之ヲ昔日ニ比シテ漸ク其宜キヲ得ルモノト云ハサルヲ得ス西曆千八百八十六年ニ於テ英國ノ遺言遺傳ノ財産中其價格千「ポンド」以下ノモノ七割七分五厘ノ多キニ達セシヲ以テ之ヲ視レハ其國內小財産家ノ増加セシハ實ニ疑フヘカラサル事實ナリ然レトモ大資本家ノ財産モ亦固ヨリ増加セサルニ非ス英國所得稅ノ景況ニ據リ之ヲ視ルニ西曆千八百四十三年以來國民ノ歲入ハ七億五千五百萬「ポンド」ヲ増加シ今其増加ノ次第ヲ分析スレハ資本家ノ歲入ハ一億九千萬「ポンド」ヨリ四億「ポンド」ニ増加シ其増加ハ一倍以上タリ然ルニ同時ニ資本家ノ増加ハ凡ソ一割五分ニ止マレリ是レ亦富ノ配當平分ヲ得ルノ一證トスルニ足レリ今上等及ヒ中等社會ノ歲入ト勞力社會ノ歲入増加ヲ比スルニ西曆千八百四十三年以來前者ニ於テハ一億五千四百萬「ポンド」ヨリ三億二千萬



「ポンド」ニ増加セシニ後者ニ於テハ一億七千百萬ポンドヨリ五億五千萬ポンドニ増加セリ而シテ西曆千八百七十七年乃至八十六年ニ百五十ポンドヨリ千ポンドニ至ル歳入ニシテ所得税ヲ負擔スル者ノ數一割九分二厘九毛ヲ増加シ千ポンド以上ノ歳入ハ却テ二分四厘ノ減少ヲ示セリ以テ英國小資産家ノ増加ヲ證スルニ足レリ今尙ホ其事績ヲ明ニセンカ爲メグーセン氏ノ西曆千八百八十七年ニ於テ爲セシ富ノ分配ト題スル演說ノ一部ヲ掲載セン

千八百七十七年ニ於テハ百五十ポンド以上五百ポンドマテノ歳入ニシテ所得稅ヲ負擔シタル者二十八萬五千七百五十四ナリシニ千八百八十六年ニハ増シテ三十四萬七千三十一トナレリ是レ則チ二割一分四厘ノ増加ナリ然ルニ同時期中五百ポンド以上千ポンドマテノ歳入ハ三萬二千八十五ヨリ三萬二千三十三ニ減セリ千ポンド以上五千ポンドマテノ歳入ハ一萬九千七百二十六ヨリ一萬九千二百五十二ニ減セリ是レ凡ソ二分四厘ノ減少ナリ而シテ五千ポンド以上ノ歳入ハ三千百二十二ヨリ三千四十八トナリ二分三厘ノ減少ヲ示セリ則チ是レ平年ト商業不振ノ年トナ問ハス五百ポンド以下ノ歳入ニ



# 賣捌所

東京京橋區尾張町

東 海 堂

同 神田區錦町

武 藏 屋

同 神田區一ッ橋通リ

有 斐 閣

麻布區永坂町五拾壹番地

旭 堂

同 神田區表神保町

東 京 堂

明治廿六年五月廿五日印刷  
明治廿六年五月廿六日發行

定價拾錢

東京市神田區今川小路二丁目十四番地

發行兼印刷者 高橋捨六

東京市小石川區下富阪町十七番地

編輯者 濱田健次郎

東京市神田區今川小路二丁目八番地

發行所 特別私立專修學校